THE KEIJO NIPPO　大正六年十月二十四日　第三千六百二十九號（一）

京城日報

二十三日夕刊（朝夕刊併せて八頁）

社會黨平和運動

バヴアリヤの社會黨は總ての社會黨と連絡し平和促進運動に全力を集中すべし（紐育電報）

獨帝の講和希望

目下勃牙利首都ソフヰアに在る獨帝は羅馬尼、塞維と單獨講和を交渉せん希望あり（紐育電報）

獨戰爭地帶擴大

獨逸は戰爭區域を擴大し近く北米合衆國加奈陀及び玖瑪の沿岸を戰爭地帶と認むる旨を宣言すべし（紐育電報）

敵飛機敗北慘澹

二十一日夜深更十一隻の獨逸飛行船近づきつゝありとの報佛國全部に傳へられ各航空防禦隊及び砲壘は敏速に擊退準備をなして待ち受けたるに果して襲ひ來りしが散々に打ち悩まされて四散し其内五隻は射落されたり敵は一發の爆彈をも投下する猶豫を與へられざりき此の報倫敦に傳はるや何故に敵飛行船が今回佛國に於けるが如く英國内に於て擊退せられざるやに就き市民恣の説明を求むるの聲起りつゝあり（倫敦電報）

廣西軍湖南侵入

最近湖南よりの報道に依れば廣西團數千名は今や省境を踰ゑて湖南省に侵入せるが中央政府は湖南軍司令官に對し廣西督軍にして湖南に侵入せば直ちに之れを攻擊すべしとの命令を發したるを以て近く一般的戰鬪開始せらるべき虞れあり而して重なる戰鬪地域は恐らく江華山近傍なるべし（北京特電）

廣東軍戰鬪開始

二十日陳炳焜氏の部下梁芝蘭氏の率うる廣東軍は惠州に向ふ途中同日午後廣東九龍鐵道の樟木頭驛附近に於て莫擎宇氏の部下張天驥氏の兵と衝突し目下戰鬪中なり又黃士龍なる者張氏に應援しつゝあり黃は廣東人なるも北方派に加擔し手兵を率ゐて張天驥氏の兵に合せんとしつゝあり其原因は陳炳焜氏が廣東人を排斥し廣西人を廣東に入れしを憤慨したる爲め北方に味方したるものなりと（北京特電）

帝國造船力膨脹

我國に於ける造船能力は最近莫大なる膨脹を示し九月末調査に依れば一千噸以上の船臺は四十二箇所百十二臺に達し本年中に増設さるべき船臺を建造し得べき造船見込みのもの尚四十臺あり（東京特電）

吳光新重慶行

吳光新氏は二十日重慶に向へり（宜昌特電）

小額紙幣發行

小額紙幣發行の件は二十四日開會せらるべき樞密院會議の御諮詢を經て次第直に三千萬圓丈け發行せらるべしと（東京電報）

新設會社頓挫

大阪にては新設の會社にして機械の輸入杜絕し居れる爲め事業を開始する能はず又は創立總會を濟ませて其儘となり居るもの増資計畫を取消し或は新設計畫を取消すの餘儀なきに至れるものを生せり（大阪特電）

小泉中將危篤

水戶在常磐村に靜養中なる豫備陸軍中將小泉正保氏は病氣危篤也（水戶電報）

釜屋少將鎭海行

釜屋少將は二十三日朝京城より來釜鎭海へ向へり（釜山特電）

高橋代議士北行

秋田縣選出代議士高橋本吉氏は支那視察の途二十三日朝釜山著午前十時三十分發列車にて京城へ向へり（釜山特電）

兩王殿下御禮

李王世子殿下御成年に付き天皇陛下より殿下に御下賜品あらせられたるに對し李王、李太王兩殿下には二十二日使を長谷川總督邸に遣はし御禮使奏方を申出でられたり

京管局制改正

滿鐵京城管理局制改正の件は二十三日附を以て左の通り發表さる

▲庶務課　從來の總務課を廢して同課を置き鷲尾弘準氏課長を命せらる

▲工務課　從來の工務建設兩課を合して同課となし元山出張所長たりし川江秀雄氏課長を命せらる

▲運輸課　從來の營業課及び汽車課中運轉係を合して同課となし安藤又三郎氏課長を命せらる

▲經理課　從來と變動なく加藤正美氏依然課長たり

▲工場　從來の汽車課中工作係を加へ又た平壤出張工場、草梁工場を合して龍山工場となし黑澤明九郎氏依然工場長たり

▲其他　之れと同時に大田建設事務所を廢し同所長たりし久門雄二氏は淸津出張所長を命せられ工務課長たりし伊藤三郎氏は元山建設事務所長に又建設課長小城齊氏は滿鐵本社總務部勤務に汽車課長佐藤三郎氏は運輸課勤務となれり

入京中の安田氏一行（左）安田善三郎氏（右）永瀧久吉氏

財界の變調と新事業

安田善三郎氏車中談

日本財界の巨星安田善三郎氏は支那視察の途次二十三日朝入京せり其の車中談に曰く『予は明治卅五年に京城へ來て約

▲一月許り　滯在したが其後初めての渡鮮である、十五年前の來鮮は故小村侯の旨を受け米人コールブランの經營せる京城電鐵買收の爲めであつた、然し色々な故障、外交上の問題などもあり又鐵道の折合も旨くつかず予は空しく引き揚ぐるの止むなきに至つた、當時の釜山と今日の釜山は其の發展の狀態に於て非常の差があり二十二日に各方面を視察し一驚した次第である、恐らく京城も仁川も予の古い記憶を殆んど滅してゐる位に進展發移したであらう、朝鮮に於ける安田系の事業は百卅銀行と建物會社と一二の保險經營に過ぎない、けれど何れも朝鮮開拓の進むに伴ひ相當の成績を擧げてゐる、今後とも

▲既設事業　の活動を盛んならしむるは勿論だが、有利確實な新事業があれば安田は其の投資を決して躊躇しない積りである、今日でも色々朝鮮方面の新事業の相談を瀕らして見ゐる方もあるが、まだ十分乘氣になれるものなし安田は關係すればドコ迄も底の底まで其の事業と離れぬ、生温い關係は絕對に持たない方針である、素より予等今回の旅行中でも面白い事業があれば充分承り又計畫だけでも收拾して行きたいと思ふ』話題内地財界に入れば「近時內地の經濟界は僅に變調を來してゐる、これ空前の大戰亂の生んだ現象に外ならない財界が今後如何に推移して行くかと云ふ事は戰局前途の想定が出來ぬ如く、神ならぬ吾等は知るに由もない、唯吾等は事とも多少の動搖に遭ふもそれに凹まぬ丈けの

▲準備と覺悟　とを以て經營して行く事は必要だ、而して近時財界の變調波瀾のために昨年來起つた新事業は可なり揉まれてゐる、さりとて事業界の前途を悲觀する必要はあるまい、新事業中どうしても經營の持續が出來ぬもの倒れて終うし存立可能な分は確立して行くのであらう、夫等は自然淘汰に委する外はない、又米國の鐵材禁輸は日本に非常の刺戟を與へ近來當業間には製鐵事業經營が大流行を來してゐる、安田でも內地で一製鐵所の新營を企劃中である、如斯諸材料の自給自足を計ると云ふ事は頗る適當の施設に相違はないが、此の空前にして殆んど絕後なるべしと思はるる大戰亂最中の非常時の現象に過ぎない、常時を律せんとし、何も彼も自給自足の方針により事を行ふべしと云ふのは吾徒に贊成出來ない、又無暗に其の種の事業を企てても平和克復後外國產品に優秀低廉なものがあれば

▲當然壓倒　さるゝのは極つた事で、經濟界の將來より見れば深く思ひを茲に致さねばならぬ、最近に於ける株式の暴落も財界の變調より來たものだが、株式は近來の高値煽りに煽られて殆んど最頭に上りつめた樣な觀があつた、そこに少しの風雨を生ずれば急轉直下を來すのは何等怪しむを須ひぬ、外國貿易の梗塞、船舶傭入の緊縮が株の値を直下さしたのは當然である、然し主要會社の事業成績や配當などから見て今日の株の値は底値と稱してよからう其の跳ね返りは當然來るであらう、唯跳ね返つても今後一再ならず如斯動搖は襲つて來るものと思つてゐねばなるまい

▲滿洲興業會社　堤定二郎氏談

同じ滿洲興業株式會社の取締役堤定二郎氏は滿洲興業株式會社の事業目的に就き語りて曰く『同社は去る八月に拂込を終了し安田善三郎氏を社長に永瀧久吉氏外數氏を取締役に選擧し設立したるものにて事業の目的としては家屋建物の賃貸、地所の賣買及び仲介金融等の業を營むものにて先づ第一期の計畫として滿鐵會社が今回建設せんとする鞍山站製鐵所の附近に市街家屋を建造せんとする計畫にて同社は滿鐵と契約の下に社宅を建築することゝなり居れるが以て將來同製鐵所の事業進展するに從ひ社宅及び市街家屋の漸次増築を爲すに至るべしと信ず尚此後は滿洲各地に於て同樣の計畫をなすべく種々調査中なり云々（釜山）

定例長官會議

二十三日は定例長官會議日なるより長谷川總督、山縣政務總監以下各部長官局長、所屬官署長等は午前十時より總督府第一會議室に參集通常政務に就き協議打合せの上正午散會したり

學者資本家提攜して

…頻々として蹶躓の聲を耳にする…

…唯憾む人物の缺乏を…

中村組社長　中村精七郎氏談

中村精七郎氏は二十一日南行列車にて歸釜に向ひたるが其車中談に曰く各方面に種々な事業を經營して居る關係上殆んど席暖まるに遑なく聊か奔命に疲るゝの思ひがある、事業としては船舶、鑛山、築港其他關門隧道の設計理化學研究所等で此等全事業の投資額は

▲約二千萬餘圓　の豫算で右の中關門隧道は既に設計成り近く實地測量に著手する筈であるが其調査には約二三萬圓を要する目論見である理化學研究所は東京府下蒲田に七千坪の土地を購入し水產化學、醫學の三研究部を設け有ゆる學者を網羅して自由に研究せしむる目的であるが經費は一個年二十萬圓を支出して十個年の繼續事業で加藤博士に依賴する事とした從來日本の學者は資本家から冷遇されて居た爲め書物の上で研究しても實地に研究する事も出來ねば折角發明に沒頭しても

▲之を助ける者　が無い爲め中途で挫折するが如き事が多かつたが自分は率先して此の弊を矯め資本家と學者の足並を揃へて兩々相據り相扶けつゝ社會を裨益して國家に酬ひたい考である併し自分は十年の歲月に於て天下の學者が等しく世を益し出資者を利せしむるに足る研究をし得なかつたならば斷然巨額の資を拂に振つても研究所を廢止する覺悟である事は學者達に通告して置く心意であるが一所期の目的を達する事を得ず徒らに

▲時間と費用と　勞力とを空費するが如き事あらば學者の威は地に墜ちて又再び投資家と步調を一にして進む事は困難となるのであるから學者たる者も責任が重い理である次に自分が最近各方面に事業を起すに當つて最も困難と感じて居るのは人材の缺乏と信用の失墜である世間には就職難を喞ちて居る者が多くあたら有爲の人物が江湖に落魄して居るが資本家から見ると人物が斯く迄に缺乏して居るかと不思議に思はれる位である自分の手許には就職

▲依賴狀が積ん　で山をなす程あるし相當の人から有爲の人物を紹介して來るが扨實際に使つて見ると責任を以て事業を經營する腕の器もなければ軍師參謀の材も無く安心して事業を託する事の出來る人物は殆んど稀である然も雜卒さへも質の良い者を求める事の困難なるに至つては益々悲觀せざるを得ない次第で我々は人物問題の爲めに折角目論見た事業を中止する事が屢々ある、就職難の聲喧すしい今日

▲人材と信用を　斯く迄に蔑視して資本家の活動を可能ならしむる如きは一個の社會問題として研究に値する事であると思ふ

京漢線復舊

支那京漢線は新鄕縣附近新樂河の渡船連絡を要する外復舊せりとの通知京管局にありたるに付同線經由の聯絡乘車券の發賣を開始せりと

竣工式延期

大正水利工事の一故障

二十五日竣工式擧行の筈なりし不二興業經營大正水利組合はサイホンに一小故障あり其の修理のため二十五日の竣工式延期の止むなきに至りしが右は今夏七月の大出水に際し生じゐたる故障を最近迄發見せざりしために因を發したるものらしく組合にて目下急修理を進めつゝあるも其の完全を期せんとするには相當の時日を要すべく竣工式は無期延期となれり

支那武官來期

本秋內地に於て擧行さる可き大演習陪觀の爲め十一月四日北京出發渡日の事となれる支那武官一行は往路京城に一泊總督を訪問敬意を表する筈なるが之れが東道として阪西少將同行の由なり一行の氏名左の如し

陸軍上將銜中將 [illegible]　靳雲鵬
[illegible]　曲同豐
陸軍中將 [illegible]　熊炳琦
陸軍少將 [illegible]　龔維疆
陸軍步兵上校 [illegible]　華世中
陸軍一等軍需正 [illegible] 科長　趙崇僜
[illegible]　余晉龢
[illegible]　胡宗銓
[illegible]　劉明章
[illegible]　莫達章
外從者五名

長岡中將動靜

長岡中將は二十一日引續き平壤在鄕軍人分會演武場に於て一般市民の爲めに飛行講演を爲し翌二十二日午前十一時二十分發列車にて鎭南浦に向へり同地にては整間小學校に於て講演を爲し終つて三和花園及び久原製鍊所を視察し夜七時より商業會議所樓上に於て一般市民の爲めに講演を爲し二十三日午後一時三十分發列車にて滿洲に向へり（平壤）

早川旅團長歸壤

步兵第三十九旅團長早川新太郎少將は京城附近に於ける秋季機動演習統裁のため出張中なりしが演習終了せしを以て二十二日午後三時二十分平壤着列車にて歸壤したり（平壤）

建部博士動靜

滿洲地方視察中なりし文學博士建部遯吾氏は二十二日午後七時三十分奉天より入京朝鮮ホテルに投宿せるが氏は已に豫定の期間を經過せる事とて二泊の後直ちに大邱に向ひ其れより釜山京都を經て歸東する筈也

安田氏一行入京

貴族院議員百三十銀行頭取安田善三郎氏は永瀧久吉堤定二郎の兩氏外三氏同行支那行の途次二十三日午前九時十分の延着列車にて入京朝鮮ホテルに入りしが同日市中を視察し二十四日下仁多分二十五日北行すべし

渡邊法院長東上

京城高等法院長渡邊暢氏は二十三日午前八時三十分南大門驛發列車にて東上せり

國府警務官著任

新任警務總監部保安課長兼務官國府小平氏は二十三日午前八時五十分著列車にて京著任せり

露國參事官北行

東京駐剳露國大使館參事官セキン氏は二十二日夜釜山著同十一時發北行列車にて露都に直行せり（釜山）

東洋協會幹事

東洋協會朝鮮本部幹事は過般小松原會長より總督府理財課長有賀光豐氏に委囑せられたり

衛戍病院轉地療養所

京城衛戍病院轉地療養所は去る二十日より東萊溫泉場なる蓬萊館内に開始し一等看護長一名及び看護人一名を常置し時々軍醫出張の筈なるが目下收容者は步兵伍長以下十四名にして同療養所は來年三月迄開所の豫定なりと（釜山）

野村總一氏

鮮銀京城支店次席より同仁川支店に轉任せる野村總一氏は後任者鮮銀大阪支店桂次席の着任廿四日朝と決定したるを以て之れを待ち合せ事務引繼の上廿五日夕出發赴任の筈なり（仁川）

鮮銀券發行週報

十月四日より二十日に至る一週間の鮮銀券發行平均高は四千九百十五萬八千六百五十一圓なり

人事

▲前田昇氏（高等警察課長）二十二日午後九時四十分南大門驛發北行

▲佐賀縣立商業學校職員生徒三十名　二十三日午前水原より入京原金へ

▲永野鐵路署長　母堂危篤の報に接し二十二日午後急遽郷里大分縣へ

▲內田太郎（某某醫院長）二十二日午後歸仰

▲京城工業專門學校生徒二十三名內地より歸校

▲野口耕一氏（土木局元山出張所技師）二十二日附咸興へ出張を命ぜらる

▲岩城信太郎氏（土木局釜山出張所長技師）同日附晉州へ

▲管田勇氏（道事務官）用府中の處十九日歸任

▲小河原義照氏（視學）二十二日附平壤へ

彼れ此れ

○人氣と云ふものは、時世時節に依り、妙なるものにて、其の人間に取りては、甚しき幸不幸のあるもの也。英國宰相ロイド、ジョーヂ君の如き、頗る人氣なりしも、內閣乘ッ取りの力に氣兼を要する事とて、昔日の面影なく、從つて人氣も、前日の如からざるに對し、タイムスなどより、罵倒はりをされ、遂に能く免せし、前宰相アスキス君の聲望は、近來甚だしく揚り、議會に於ても、流石の愛蘭黨の如きすら、互に相戒めて、謹聽すと、其れに就ても、元陸相ハルデーン君の如きは、未だに惡口を叩かれつゝあり。一番損にして、不幸なる、貧乏籤を引き當てたる者也。

○伊侯爵に、乞食多しとは、有名なる話也。然るに我京都邊に棲む、乞食の一派は、發子策に依て華族株を買收し、乞食仲間には、愛燻を實買す。而も拔群の高價のものにて、每月五圓位の、手當贈度なりとは、悲しくよりも悲むべきものにて、他を笑ふべからず。

○近時支那視察の、盛なるは、日支親善上洵に喜ばしき事柄なるも、支那の禮儀作法を顧慮せず、無禮千萬なる行爲をなすもの多し。此の如きは、日本紳士の內兜を見透され、其の上却て、日支の親善に、惡感を與ふる者也。心せざるべからず。

朝鮮文藝社雅集次水野錬梅詩韻

天地須留一卷詩。百年任術布衣披。
賈生剩有愛時淚。杜老寬無停手危。
紅葉映憩夕陽媛。黃花滿徑故狂宜。
不妨酣作快心詣。相別明朝隔海涯。

天彭　今關壽麿拜稿

一、汽機汽鑵賣却
一、汽鑵　ユニバーサル型 … 壹臺
一、汽鑵　コルニッシュ型 … 壹臺
一、汽機　舶來橫式二十馬力　壹臺
一、石油發動機　五馬力　壹臺
一、煙筒　長六十呎　壹臺
右の品賣却仕り候に付御入用の方は御一報被下度此段廣告候也
岩田留楠商店

奉祝天長節
大提灯行列用
特別大勉強仕候間多少共用命被仰付度伏て奉願上候
提灯商 雨傘 大島商店
京城明治町二丁目 電話一六三五

五萬貫限安價にて御注文に應ず
在庫 木炭 豐富
根炭 白炭 分拆用
山西商會 京城黄金町 電話二〇七六番

七福タオル
高尚珍柄 品質本位
愛媛縣今治町本町三丁目 營業所 山田晴一商店
愛媛縣今治町北新町 工場 山田タオル工場

北陵の秋 漸く老いて

■愛親覺羅氏の偉業を想ふ■

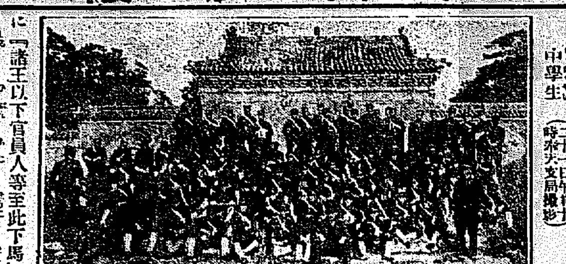
■京城中學校生徒の奉天見物■

京城中學校の五年生九十四名は廿日の夜奉天に著いた、廿一日朝は御神祥に白布の辨當袋を背負つて勇み立ちつゝ北陵見物、廣い海のやうな大野原を歩いて松林の北陵に著いたのがかれこれ午前十時十頃であつた、

■北陵は滿洲から 起つて支那の中原に覇業を樹てた大清朝の太祖の子、大宗八王の陵である、今から二百七十餘年前に建てられたもので境内は非常に幽邃な林である、中學生の一行は林間の巨きな下馬碑のあたりからすつかり感心して了ひ、殊に『諸王以下官員人等至此下馬』と記した碑文の文字が蒙古、滿洲、西藏、土耳古の四箇國文字で記されたのを見てさすがに

■大清朝の企圖は 耳きかつたなと感心した而し中には『加藤清正を伴れて來たかつたなあ』と眞面目で云つて笑はせる生徒もあつた、正面の石碑門と前山門とは共に黄い瓦や赤い甍で壯大なもの、その下で先生から東洋歷史の講義がはじまつた、兩側の塀に沿うた門を潜つて老松の茂つた境内に入ると石馬、石象などがあり、龜の背に載つた大理石の聖德碑があり更らに

■城壁の正門には 龍宮のやうな隆恩門が聳えて居た、大宗の眠つてゐる寶頂は滿洲里の陵などと同じ土饅頭で、その上に徑をなして居るのは心なき人が土足にかけたものであらう、四角につゞいた城壁の土は馬車が並んで走れる位ゐに廣い、總ての規模が大きいけれども頽廢の面影は土饅頭の八重葎にも窺はれる、穗や大理石を敷き詰めた拜殿の庭では日置前支那公使一行にも出逢つた、北陵の秋色は今方に闌である、紅い胡頽子のやうな木の實もあれば黄葉した櫟の林から銃聲も聞ゑる



奉天北陵前山門前の京城中學生（二十一日午前十時奉天支局撮影）

■冷たい風が角樓 の隙に風鈴をならしつゝ過ぐれば蒙古文字の扁額が荒涼の秋に泣きつゝある踊途はまた海のやうな野原を歩く、遙かに東方奉天城の城門が見ゑて朝鮮人が水田の稻を刈り稜つたあたり白雲飄々として碧空に飛んでゐる、中食は一同土糰の陰の黄塵の裡に喫つた、眼もあけられぬ滿洲の黄風『ナニなあに日露戰役の先輩のことを思へ』ニとばかり一同ゴミの握飯をパクリ〳〵、奉天城内の見物はまた非常に珍らし相であつた、宮殿の中央

■鳳凰樓三層樓上 から城内の四方を俯瞰した眺めは雄大なる愛親覺羅氏の覇業を思はしめた、張督軍の將軍公署も向ふの方に見ゐる、歸りは更に南滿醫學堂を見學し終りに二萬二千餘人のわが戰病歿者を祀れる忠魂碑に禮拜した、折から紅い夕日は大平原の地平線に沈みつゝあつた、中には哈爾賓の露と消ゑた沖、横川の遺骨の前に露人から贈つた花環を觀た時、わが九十餘の健兒の面は一樣に緊張の色が漂うてゐた、かくて一同は夜の八時五十分奉天をあとに一路大連に向つた（奉天支局）

□赤字朝鮮本部の光榮

日本赤十字社朝鮮本部にては今回　天皇　皇后　兩陛下の御眞影拜戴の榮を擔へるより廿五日午前九時南山町事務所に於て其の拜戴式を擧行の事となれり

●成金連の恐慌 山口商店の整理を引受く

絲界の問題たる山口商店の整理は絲布團にて引受け二十四日協議の上整理する事となれり之れは絲成金連が同店破綻の曉は自己も其卷添に會はん事を恐れし爲めなり（大阪特電）

●列車爆發事件 嫌疑者收監

九州線早岐佐世保間二等列車内に於てダイナマイト爆發し乘客三名負傷せる事件は佐世保署に於て嚴重取調中なりしが裏面には甚だ重大なる事件潛めるもの如く嫌疑者と目せられしは神戸鈴木商店員にて乘客の一人なりし片山武（三七）は二十二日收監されたり（大阪特電）

●福岡八幡製鐵 事件益擴大

福岡八幡製鐵所事件は益々擴大し折尾驛長は拘引され貴族院議員麻生太吉氏は家宅捜索を受けたり（大阪特電）

●南大門驛發著

十一月一日朝鮮線時間改正後に於ける南大門驛の晝夜急行列車發著時刻は左の如し

▲釜山行き 午前八時著同八時四十分發（從來は八時十分發）午後七時二十五分著（從來は七時三十分著）午後七時五十分發

▲奉天行き 午前九時二十五分著九時五十分發（從來は八時五十五分著九時十分發）午後九時著九時四十分發

●白米五厘値下

京城に於ける米相場は一時小賣二十四錢五厘であつたが最近に至り一部小賣商人の間に競爭起り五厘値下げをした結果二十三日より全部五厘方下落したる爲め鮮貸に比較すれば一石に付二十錢の鞘となつた

●阿片煙を密賣

山草梁生れ尹尚鎬（三一）同洞支那人張承基（三七）同支那人呉薪許（三八）慶北星州吉野町崔性浩（四八）崔宗坤（三二）等は阿片密賣者として此の程京城鍾路警察署に檢擧されしが性浩は本年舊六月中住所不明李基善なる者より阿片五百十兩餘を二千圓にて購入し各自携帶して釜山地方より密貸しつゝ京城に流れ込みたるものにて阿片煙は押收し取調べの上何れも檢事局へ送らる

奉天北陵前の日置公使

◆◆◆一行は日本石油會社長内藤久寛氏等四人◆◆◆

冷たい秋風が奉天は北陵の石馬の面を吹きなでゝ居る時、前支那公使日置益氏と日本石油會社長内藤久寛氏の一行四人にヒヨツクリ出逢つた、日置氏は黒の山高にモーニングの内藤氏は中折に脊廣の

△輕裝で あつた、境内に茂つた老松を見ながら『幽邃な所だね』と日置氏は愛相の好い紳士であつた、記者の問に答へて曰く『奉天へは度々來たが北陵はこれがはじめてです、今日はこれから馬交渉使や張將軍の招宴に行きます』『こんど御覽になつた吉林や長春の様子は如何です』と問うと『あちらは何處も盛んな景氣です、奉天もなか〳〵

△活氣を 帶びて居るやうです が滿洲一體が景氣づいたのも一つは日本の政府や國民が活氣づいた影響かも知れませぬ、君なども哈爾賓あたりへは時々出掛けられるがよい――』そこへ京城中學生が來た、日置氏は眼を細うしながら『アヽ京城中學、なるほど斯ふなければならぬことです、京城から滿洲、滿洲から西比利亞と

△順次に 押し出すのが肝要です、京城中學校は朝鮮語か支那語をやりますか、なに、やらない、支那語だけは是非何とかしたいものですね、德富さんの支那だよりも京城日報で熱心に拜見して居ります、なにみんな支那行きが大流行だつて……ヘツヘツヘ、今日は陰險な天候が好いもんだからみんな一時になりました』次に石油會社の内藤氏の談に曰く『私共は廿一日

北陵隆恩門前の石階上に立てる日置公使（向つて右）及び内藤氏（向つて右から二人目）

△撫順を 經てそれから大連に出て更らに奉天に引返して北京から漢口、大冶鐵山、上海、青島と廻ります、京城は多分十一月末となりませう』――これからの旅行はいゝ時なので兩氏の一行は北陵の門に出た、自動車にのつたので西入は雜木林の裡に消ゑた（廿一日奉天北陵にて金谷生）

◆鮮人教化 ‖簡單な方だ‖ 建部文學博士談

滿洲方面觀察を終へて二十二日夜奉天より入京せる文學博士建部遯吾氏を途中に迎ふ氏は語つて曰く

今度は奉天からやつて來たのだが彼方では旅順、大連、撫順、奉天方面の一般觀察を爲したに過ぎない彼方は已に非常に寒く兩三日前撫順では零度以下七度とか迄下つて居た霜は愚か

◆既に結氷期 に這入つてゐるあの方面は自分に取つては始めての旅行だつたが矢張り朝鮮に這入つて來ると仲々心地が良いね…其れで句ありさ、曰く路入北韓天地悠。楓紅松翠一川秋。神功千歳流風在。白衿農翁何門求。…從滿洲復入朝鮮。頓覺景物一新。實際自分の朝鮮觀は神功千歳流風在。白衿農翁何門求。で盡きてゐると言つてよい…之より話は教化問題に入りしが氏は曰く…朝鮮に於ける教化問題は言はゞ簡單な方である

◆言語系統を 一にしてゐる――勿論言の廻し具合は違ふが――内地人に對するのと比較すると滿洲方面に於ける教化と云ふ事は隨分六ケ敷いものだらうと思ふ言語其他の相異れる支那人の教化に就いては其の方針も自ら異らねばなるまい、元來彼方では關東都督府と滿鐵區域と其の教化方針も自ら二段に分れてゐる樣な有樣で學校に於ける諸設備等に就いても尙相當顧慮を要する事だらう、丁度臺灣の學校即ち

◆土人教化に 對する問題は今朝鮮と滿洲方面との中間位に在るものと言つてよい勿論以上は朝鮮に於ける鮮人教化と滿洲方面の支那人教化と臺灣に於ける土人教化とに就いて述べた丈けの事だが之等の地方に於ける内地人教育問題に就いては已に各々其の方針を確立して居る事だらうし今更ら絮説を俟つ迄も無い朝鮮に於ける總督府の採れる方針の如き自分は大賛成の意を表して居る所である

◆内地人教育 に關する滿洲方面に就いて見ても施備の如きは朝鮮等よりも勵もすると優つて居るかも知れない位の域に進んでゐる……話しは轉じて……自分は今度は都督府と滿鐵の請に應じて教育問題に就き聖に講演に行つたに過ぎ無い

◆入京の野原大僧正

本門法華宗前管長本門寺派大本山妙蓮寺貫主本門佛立講有大僧正野原日随師は既報の如く夫人及び合息現斯師並に隨員御敎師勤、河野圓登、松本清學氏等を同伴し二十三日午前八時三十分南大門驛著の列車にて入京せり驛には京城婦人會員檀家信徒の人々多數出迎へあり僧正は紫色の法衣を纏ひて降車し貴賓席より自動車に搭乘婦人會の旗を先頭に南大門通りより蛤町子爵李夏榮氏邸に入れり二十三日は長谷川總督を訪問し同夜は行啓所に於て一場の法話を試むる由。車中記者に語りて曰く『朝鮮の旅は殆んど内地を旅行してゐる様な感じがして、かく釜山の如き私は下の關のやうな感じがして、かく釜山から汽車に乘ると下の關より京阪に行くやうな氣がする、京城でも布教所で一法爺をなしすぐに内地に歸る筈、何しろ忙しくて後に巡廻地を控へてゐるから、ゆる〳〵朝鮮の地方巡迴も出來ないのは遺憾です』（寫眞は南大門驛にて僧正）

◇情趣豊かな ‖溫泉の里‖

◇忠南の溫陽溫泉 ◇設備益々完全す

忠淸南道の溫陽溫泉は今度新浴場の設備完成したる忠淸南道官民を招待して披露宴を催したが溫陽里は京釜線の天安から約三里半許りある溫陽の所在地で天安から自動車で約二十分で到著する四方山に圍繞され其の麓の村落には鬱蒼たる槐樹や松アカシヤなどが繁つて

◇今を盛り と咲き亂れて日紅菊などが庭園内にはダリヤ百ゐる姫萩を輕く履んで丘上に登れば附近一帶の山も川も小春日和の秋色に溢れて紅葉の燃へ出る色鮮々たる黄茶の波など萬目皆快よい、流るゝ小川は淸冽に澄んで秋の色を泛べて居る川下ではハヤ鰻などの川魚を漁る人の姿も三々五々眺められる溫陽は溫泉に依つて生業を維持して行く丈けに邦人も居住民も溫泉場の設備を完全にし

白ウヰスキー は品質本位の高尚飲料なり論より證據先づ一杯を試みられよ

◇風致を美 にして京仁及附近一帶の地方民の足を牽く事に全力を擧げつゝ溫泉會社も又汽車自動車の乘車賃割引の便を計る等溫泉場の發展を期して居るから此の附近一帶の地は京仁地方の遊び場所として今後一層の繁榮を來すであらう（一記者）

◇溫泉の里 の情趣を豐か

清澄な秋の日に囀る小鳥の音も味はせる、溫陽館は李朝時代の建物の中にある日本建で淸潔な設備と眺望の美しさは東萊溫泉を聯想させるに充分であるが浴室の數奇を凝らした設備に至つては恐らく他に其比を見ないであらう溫度は攝氏四十五度内外で滾々として噴湧する溫泉は無味淡白であるが胃腸病や花柳病等に効

◇胃腸病や 花柳病等に効能がある六月以來浴槽の改築を施した結果溫度も幾分高くなつた嚴寒中は外氣の爲めに冷却するけれど此の期間別に沸騰した溫を導いて高溫を保たしめると言ふから結氷中の保養にも適する溫陽館を出てポプラの並木に從つて小丘に登れば其處には京城戊病院溫陽

讀者文藝（一暗影選）

▽謎「颱風雨とかけて」
○紛失ものとく、心は後からさわぐ（一等）　京城　鳳園生
▲けちの付いた貧家と解く、心は明日（秋）が多い　京城　貞子
▲尺八とさく、心は吹いたりふつたり　龍山　大石劍牛
▲故障の這入つた艦隊と解く、心は洪水になる　仁川　那須花翁
▲貧乏人の寶物と解く、心は家財道具まで流れる　利川　森子

この頃から開城附近で行はれた機動演習には附近の地方官民は非常に好意を表し軍隊を歡迎したが▲開城の某有力者の家では軍隊の宿舍として幾部屋かを提供する事になつたが其處では何うしたものか食事は素より茶一杯出さなかつたといふことから▲その地方の人が承知せず其有力者に對しては宴會などでも口を利かない事になつたさうだ▲斯ういふ事に喧ましい地方には亦軍隊に對して非常に好意を有つ人があつて儒譏士の臼井水城といふ人の如きは嘗つて判事として馬山に在任中同地には年々交代兵が上陸して宿舍に割當てられるので能々郷里から夜具を取寄せて大に歡待した事もあり今度の演習にも大いに兵士を歡迎した地方の受けがいゝさうだ

商況

債券現物特電

二十三日出來高	
東洋拓殖	五四、五〇
京城電氣	
朝鮮銀行	
朝鮮瓦斯	一一七、八〇
南滿鐵道	二三、〇〇

東京公債直取引

二十三日出來値	
五分特別	九六、三〇
五分利	
四分公債	
四分五分	

深川正米特電

二十三日現在高	
朝鮮米	六九
臺灣米	一四〇、五二五
内地米	四〇九、八〇六

東京期米特電

二十三日前場	
寄付	三三、一七
高値	三三、一七
安値	三三、九六
止め	三三、九六

大阪株式特電

二十二日後場 前場

銘柄	拂込	二十二日後場	前場
宇治川水	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪電燈	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
富士瓦紡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
鐘淵紡績	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東洋精糖	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪商船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
日本郵船	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同上新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
堂島米穀	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京株式	[illegible]	[illegible]	[illegible]
東京新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪株式	[illegible]	[illegible]	[illegible]
大阪新株	[illegible]	[illegible]	[illegible]

大阪三品特電

二十三日前場	
十月限	
十一月限	
十二月限	
一月限	
二月限	
三月限	三九、〇五

大阪期米特電

二十三日前場	
中限寄付	三三、二九
先限寄付	三三、八四
三節	
六節	

下關期米特電

	當限	中限	先限
二十三日前場			
寄付	三三、六	三三、六	三三、九
高値		三三、九	三三、四
安値		三三、七	三三、九
止め			三三、四

雜報

●三品依然不勢 綿糸布界に於ける大問題として傳へられたる山口商店の整理も遂に不調に終り今後の破綻如何は昨今の綿糸界の惡材料として深く其前途を憂慮せらるゝものありて一時の耐元氣に多少相場も保たれしも人氣は兎角一高一低の大勢に伴はず今朝は三品先限二十九圓五錢を示し

●綿布三銘先物八圓二十錢 を報ぜり

●諸株小安し 株式市況は前週末に於ける反動として前場は小安く後場に至りて歩調を恢復し東株の如き先物も引締まり持合ひの模様を示せり

●正米氣弱持合 新米の出廻り增加に連れ正米は古米の高値より押し下げられしも依然として小口の出來高は前日に比し其後正米界の如く稍氣崩れの模樣なり

下關相場

▲朝鮮白米は引續き依然として賣物多く相場は保合なり
▲大豆は先づ保合
▲小豆は狂はず依然産地の比較上各手持筋の氣配は僅かなり

市場零聞

▲正米高鎌入不足 の噂ありしも樂觀說なり

●噂なるも樂觀說とあつた

●益氣味惡き賣株式暴落

●支那粟底强し

●八十錢前日に比し約二十錢方引下

●胡麻依然强硬

●依然手堅き市況

●手持筋賣惜み

仁川期米

▲二十三日前場 (伸惱む)

晴天前寄二十三圓大阪天候昨止より

十八錢高の入電にて

十八錢と小戻りに大阪六節

錢と小安き入電に大阪三節十四

仁川米豆取引所

二十三日の十二月限

寄付	[illegible]
高値	[illegible]
安値	[illegible]
止め	[illegible]
出來高	[illegible]

●精白米漸落

●大豆益々良好

●氣配漸次に良好

●多少値切りが利く

●鐵板類小安し

●更に幾分引弛み

●三割方乃至二割方の昂騰を示せり

●佛染料昂騰す

●相場の本領を發揮す

●賣物薄 新米

京城正米

▲肥料の現況

南大門の廻穀

釜山穀物（廿二日）

▲正米 安保合

釜山水產市場（廿二日）

▲人參教育五十五錢

仁川期米

▲内地米報

●更に安人氣 粉正米

▲人氣は氣迷ひ

仁川米豆取引所 仲買人
大五仲買店
店主 豬俣政太郎
電話 長一三九番 自宅六〇一番

株式會社仁川米豆取引所仲買人
全高田仲買店
仁川海岸町三丁目
電話長一〇九
振替京城三八一
電信略號タカ

大阪期米特電

二十三日後場 中限寄付二十一圓十四錢

仁川米豆取引所

二十三日の十二月限 十八圓八十五錢

●連絡船上陸客 二十二日

午前八時四十分釜山入港の高麗丸二等客

□募集規程 ▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に一題なし住所氏名明記の事 ▲締切は一週間後

讀者文藝課題及募集規定

天氣 曇り時々晴れ

彈丸の盡きるまで
思ひ起す二十餘年前=船橋里の古戰場に於ける長岡將軍の懷舊談

本田平壤府尹と篠田平南第一部長と記者との三人が長岡陸軍中將を案内して船橋里の戰跡構内に入つたとき將軍は直に舊碑前に進んで敬禮し『此處だ〳〵』と云はれて二十何年前の懷舊談をした、曰く此碑は戰爭が濟んでから私が鮮人の石工に建てさせたものだ、書は當時の歩兵少佐脇泰一郎氏の揮毫に成るもので其後久しく埋沒してゐたのを大島義昌大將が

■故伊藤公に相談し現在の所

に建て直したものである」とて感慨に堪へざるもの〻如く語る「日清戰役に於ける船橋里の戰爭位ゐ惡戰苦鬪した所はない私は當時大島大將の率ゆる混成旅團の參謀長であつたが此混成旅團は故西島中將(當時の歩兵中佐)の率ゆる歩兵第十一聯隊と武田中佐の率ゆる第二十一聯隊とであつたが、野津師團長より我が混成旅團に對して朔寧元山兩枝隊及び師團本隊の平壤攻擊に當り敵に對する牽制攻擊をせよとの命令が下つた、さうして第四師團は明治二十七年九月十六日を以て平壤總攻擊を爲すべく計畫し十四日師團の傳騎西岡軍曹が此の命令書を持ちて來たのであつた、併し私は之れに反對した恰も

■九月十四日の晩は恰も仲秋

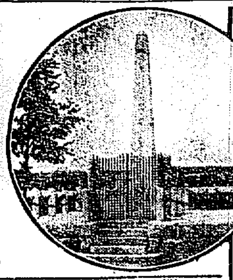
月明に際し敵營では觀月の宴を張るもの〻如く管絃の音が賑かに聞ゆる妓生の歌聲まで歷々と聞ゆるのであつた私は暮營にあつて兵に向ひ明日は午前八時に平壤を陷落せしむる積りである平壤に往つてから飯を食ふのだと云つたものだから兵士の意氣大に揚り喜び勇んで其夜は飯の用意もしなかつた、而して攻擊は午前三時より開始せられ右翼には西島十一聯隊、左翼は奥山枝隊(二個大隊)中央軍は竹田廿一聯隊と其れに分捕砲隊を併せて愈々總攻擊を開始したが

■彈丸は兵一人につき僅かに

百二十發しか無かつた敵は橋頭堡と築ける三個の角面堡内にありて盛んに應射する、所が我軍は彈丸が盡きて兵士は空腹の爲めに働けなくなつて來た殊に此戰鬪の始まると共に竹田中佐の率ゆる部隊の前哨は盡く斃れたので部隊は亂れかけて來た私は中央本隊の後に在つて絕えず戰鬪部隊の間を驅け廻つてゐたが之では叶ぬと思つて刀を拔いて士氣を激勵鼓舞したのである所へ旅團長の副官が飛んで來て『參謀長殿?旅團長閣下は御負傷です』と云つて來た、聞けば

■大島旅團長は大樹の後ろに

あつて軍を指揮してゐたのだが敵の一彈が大樹を貫通して旅團長の胸部を掠めて負傷せしめ尙軍旗の頭を掠つて行つたのである。其時



船橋里の記念碑前に於ける長岡中將

『大島義昌』軍旗の下に斃れて後『背進せよ』と號語して全軍の士氣を鼓舞せしめた美談は實に此の時であつた。爲に敵も次第に沈默して來たが我軍には彈丸が盡きたので餘儀なく土器店まで背進したのであつたが此時の戰鬪に於て即ち碑にある如く百四十名の勇將忠卒が屍を箕城郊外の野に曝し更に二百九十有餘名の負傷者を出だしたのである。敵の作つた角面堡と云ふのは

■高さ一丈五尺餘もある赤土

て固めた直立せる壁で其中には兵二三千を入れることが出來たが此記念碑の在る所は即ち其角面堡の前に當るのである、而して十五日朔寧枝隊、元山枝隊と共に平壤を陷落せしめ師團本隊も入城する樣になつて私どもは十六日大同門の少し下方にあつた敵の船橋を渡りて入城したのである」と語つて二十有四年の往時を追懷し坐ろに今昔の感に堪へぬ模樣であつた。

◉沃川橋開通式
消防組努力の跡

京釜線沃川驛前沃川橋の開通式は既報の通り二十日午後一時より開催せられたり是より先き同地官民有志沃川消防組員は數日前より諸般の準備に忙殺されつゝありたる由なるが橋の兩側には開通式を祝するアーチをしつらへ中央には餠撒臺等を設け式場には沃川河原を以て之に宛て萬國旗幔幕等を張り廻はすなど萬遺憾なきの設備を爲しつゝあり式は

▲定刻より稍々遲れて午後一時先づ渡初式に始まる先登には時枝分隊長、申沃川郡守日本人側より虎岩、深谷の兩老人鮮人側より邑内の富豪吳光默氏の一家三夫婦消防組其他の官民之に續きそれより餠撒きあり終つて直ちに式場に入り江藤消防組頭の祝辭、時枝分隊長、申沃川郡守、孫報恩郡守、小原郵便局長、木藤普通學校長、神部公立小學校長、稻葉金融組合理事等の祝辭あり

▲宴に移り同地有志の催しにかゝる假裝行列、綱渡り及び大田より特に招聘したる藝妓の手踊り等あり同地の美人連又酒肴を斡旋して

る萬歲を三唱して歡合裡に散會したるは黃昏に近かりし因みに同橋の工費は約七百五十圓に過ぎざるも普通の請負工事を以てせば二千餘圓を要すべきを沃川消防組員は寢食を忘れて大に努力せし結果僅少の工事にて同橋の開通を見るに至れりと

◉煙草收穫豫想
耕作反別增加と其原因

慶尙南北兩道に於ける煙草耕作狀況に就き專賣課大邱出張所の調査せるを見るに本年は內地葉耕作反別は三千一百六十五反にして之れを前年の耕作反別二千五十四反に比し一千一百十一反を增加し此の外朝鮮種を合算すれば九千六百九十餘反の耕作增加を示すに至れるが之れが主なる原因は前年に於ける生產不足と東洋煙草會社設立の許可を豫想したる結果に外ならざるもの〻如し、されば本年の生產額は比較的多量にして總額二十一二萬貫を豫想され居るも今春に於ける氣候の不順と遲霜等の秋霜害を恐れ早收したる爲め例年に比し肉葉稍薄かるべきを以て實際市場にて相當價格を有するは十五六萬貫位に過ぎざるべし

◉群山 地方降霜

群山地方は十七日夜來氣溫頓に低下し十八日朝に至りては群山沃溝地方は多少の降霜を見たるが是れ當地方に於ける本年の初霜なりし

◉自動車開通
二十一日開通式

大田儒城溫泉間の自動車は二十日より鳥致院を經て操路大田へ廻送し來り同日午後試運轉を行ひ二十一日溫泉會社關係者及び新聞記者等を儒城溫泉に招待して其の開通祝の宴を開きたり同自動車は毎日午前九時及び午後二時の二回定期運轉を行ひ尙ほ希望者あるに隨ひ時間の許す限り臨時運轉をも爲す由なるが運賃は片道五十錢往復一圓なり

◉大邱水道工事

大邱府水道工事は今や僅かに五百餘間の鐵管布設工事を殘せるのみ來る十一月下旬には全部完成の筈なるが從來敷設を了し居れる部分は市民の需要に應じ無料給水を爲しつゝあり其の成績頗る良好なり

◉害獸驅除

咸南長津分隊管內にては八月十二日より九月末日迄五十日間に陷穽、民、獵銃等にて熊二頭鹿三頭猪二頭獐十六頭を驅除したりと

渚の砂

■白晝の慘劇 佐賀縣西松浦郡[illegible]村小旗信助(二六)は十七日[illegible](二三)を[illegible]殺し[illegible]いて村の川に投身して自殺を企てたが果さない嫉妬の末の始末らしいさ

■僞名澤山の賊 [illegible]生れの永松[illegible](三九)は二十七の僞名を有し昨年來小倉市內外から[illegible]

■對[illegible]賊捕縛 [illegible]

■婦人の顏へ散彈 [illegible]

[illegible]

運動界
◇京龍庭球戰を評す

昨紙上に掲げたる龍山鐵道軍對京城聯合軍の庭球戰を評して見る先づ攻擊軍たる鐵道軍は新しい戰法を採り防禦軍たる京城軍は之に對して正攻法に出でたところに戰界上の苦心が見ゆる、即ち鐵道軍は御大矢野內藤組を先鋒に副將中川若泉組を中堅に中川大塚組を殿將とし永田高橋組を飛將として先づ一擧に敵の先鋒を屠つて士氣を鼓舞し大將組を優退せしめて敵の機先を制せんとしたるは[illegible]の慘なる敗戰より得たる敎訓とは云ふもの〻龍山軍としては此冒險的策戰であつた、之に反し京城軍は先鋒に松本島新澤三輪の精悍なる二組を置き飛將として京軍の領袖熊丸立見組を配し中堅に戶賀崎坪井組を据ゑ殿後に今春の優勝者たる御大莊子宮川組を置き[illegible]く近堅[illegible]なる陣容を張つたのは[illegible]であつた、愈々攻守の形勢が然らしめたものである、兩軍戈を合すや最初は鐵道軍の作戰的中に當り豫定計畫通り矢野內藤組中川若泉組は[illegible]引續き優退したが後半[illegible]は京軍の逆襲を爲り殿將中川組は惨敗を喫し優退矢野內藤組亦飛將宮川組の爲に脆くも三對一にて仕留められ中川若泉組は熊丸立見組の爲めに一蹴せられて莊宮林し勝利の榮冠は四度び京軍の頭上に置かれてたのである要するに此日の戰鬪は最初より白熱し松本島組及び新澤三輪組と矢野內藤組の對戰の如き最も猛烈にして鐵道軍の御大一時は全く危地に陷り殊に新澤組の接戰の如き京軍前衞のエヂーの爲め辛く助かつた樣なもので御大組を斯く逆襲戰せしめたのは敗戰が拙かつた結果と評する外はない、若しあの場合御大組にして新澤組の爲に制せられんか全軍土崩瓦解、昨秋の戰にかける慘憺たる新渠倒の敗戰を操返したかも保し難い、蓋し危險な冒險的戰法である、大將同志の對戰は攻防の妙技頗る堂々たるものであつた、殊に京城軍の後衞莊子が終始敵の前衞內藤の活動を全く封鎖し去りゲーム四回を通じ、敵をして僅かに一球を打たしめたに過ぎなかつた、技倆は前衞宮川の見事なる[illegible]バックヴオレー、シマッシングと相俟つて前日の白眉であつた、優退戰に入つて京軍の熊丸立見組が鐵道軍の優退中川若泉組を三對一にて雌伏し猶豫たる餘裕を示したのは當然の事とは云ひながら熊丸調特のバックが大威力を示しそれにロッビングが正確であつた結果で前衞立見の牽制的活動と相俟つて甚にせしめたのは[illegible]全軍勝敗の大關鍵を齎さしたものであつた[illegible]球は決して個人の働き許りではいかぬ共に腕の先の器用計りでは物にならぬ技倆と[illegible]頭の働きと三足揃はぬものは到底大成する事が至難である吾人は來るべき明年までに兩軍戰士が如何程技倆を進め頭腦を作る樣になるか[illegible]茲に於て樂みして此戰を終るものである忘批多謝因みに當日のスコア左の如し(庭球生投)

鐵道軍(負)		京城軍(勝)	
矢野、內藤	三	松本、島	一
◎矢野、內藤	三	新澤、三輪	二
松江、大村	一	熊丸、立見	三
永田、高橋	二	篠田、米田	三
齋藤、高橋	〇	熊丸、立見	三
中川、若泉	三	篠田、米田	二
◎中川、若泉	三	戶賀崎、坪井	〇
青木、大內	二	河合、永山	三
中川、大塚	三	河合、永山	〇
中川、大塚	〇	莊子、宮川	三
矢野、內藤	一	莊子、宮川	三
中川、若泉	一	熊丸、立見	三

仁川期米
▲二十二日後場 大阪の下寄りを受けて當地は中十七錢二十錢先十八錢八十五錢と三十五錢[illegible]

平均値段 一節 十八圓八十六錢 二節 十八圓八十五錢 三節 十八圓八十五錢 四節 十八圓八十五錢 出來高 [illegible]

二十二日午後九時十五分釜山入港 さくら丸 二等客 [illegible]

●俳諧 ●川柳 ●物は附「厄介なものは」 ●課題「[illegible]をかけて」 同廿五日 同廿六日 同廿七日 同廿八日 同廿九日 ▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

天氣豫報
京城測候所 前日最低溫度 [illegible]

演藝案內

本町五丁目 稻荷座 改正美團一行

京城 壽町 電話七八番 壽座 愛國正義一行

有樂館 [illegible]

黃金館 電話三六三七 三六六 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 [illegible]

壽館 本町 電話五五〇 吉田小奈良一行

子宮病血の道とリウマチスに惱む人は 神丸あり

こんな徵候 腰、頭、手、足、肩、背、腹、股、つり、しびれ又は痛み[illegible]
試みよ
本舖 名古屋市東區京町二丁目 荒川長太郎

彼是と迷ふ無く
最も能く効く良藥[illegible]

ハートマサック
京城黃金町三 山田文殊堂藥房

あなたの横顏が……

不思議に今に目に浮んで秋らしい夜の庭の空氣の中に漂つてゐる樣に思はれますの。妾はまあ何したのでせう。お別したのは、つひ先刻の事ですのは、妾はもう何だかあなたが戀しくて爲樣が無いのですもの。妾はあの、かち子さんの悲しい運命を思ふと、あなたと二人であの方の事をもつと話をしてもつと泣き度うございますの。でも幸福なあなたは今お家で何をして被居るでせう。あの方(あなたの事を思ひますと、毎もあなたの未來の夫の方が一緒に浮んで出て來ますの)お父樣お母樣、お四人で夜の銀座へでも散歩にお出かけでせうか。妾はあなた夫とも少しは妾の事など思浮べてゐて下さるでせうか。妾はあなたがお歸りの後、女中に手傳つて座敷の掃除やら何やら。それが濟んで、これからお風呂へと思ふところへ丁度よく本町の桃谷順天館から美顏洗粉を一打屆けて來ましたの。是は近所の小間物屋に賣切てゐましたので(此洗粉が今大變に賣れるんですつてね)先刻電話で注文しておいた品ですの。此純白な、佛蘭西式の洗粉でお湯に入る事は確かに日毎の樂みの數に入ると思ひますの。妾は夜食を濟しましても、妾の父が今旅行中といふ所から出歩きも控へ氣味で、木々の下が早くも暗くなつた庭に向つて何とはなく思物はしい物懷しい心持で、つひ先刻迄、面と面見合してゐたあなたを思ひ、あのかち子さんを思ひ『若き生命』といふ樣な事を思ひました。さらば又美き御面拜し參せるまでどうぞお健かに。

——(銀座の秋)——

一の賣出中
羽二重肩裏 一枚 金三圓均一
モス友仙 大巾 金一圓二十八錢均一
同 金三十錢均一
色モスリン 金三十錢
其他破格のつりきれ見切品澤山取揃申候
廿三日より廿五日まで
丸一吳服店

ネクタイとカーラー
——其他洋服附屬品各種——
本店 東京神田南神保町 創業 明治五年

ネル新柄シャツ 壹着 金貳圓より
ツカタニ出張所 京城本町 電話一一六〇番

內科 小兒科 村上病院
京城永樂町一丁目(商品陳列館前) 電話六二三番
院長 醫學士 村上龍藏
副院長 熊本醫學士 松下三郎

左甚五郎

第六十三席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

消島町の棟梁三五郎は一旦家に歸つて暫く考へて居たが、何と思つたか支度をして兼て出入をして居る門跡樣の頭立つた檀家方の處を十二三軒自身に出て行つて、此度の御普請に就て懇々といふことを委しく述べ、一ツ旦那方のお計ひをもちまして宜しくお計ひを願ひたいといふことになつた、然し他人のことに他人がしなければならんと云ふが、云ふことと易く行ひ難し、那々へ宜しいと易々と受合つて暇かきをして他人のことに錢を遣つて遣つてくれるといふ人は海に少いもので、並　門跡樣の檀家で先づ頭立つたのが内庄、奈良勘、松喜、坂七、田島屋、尾張屋、中半大總なぞといふ處で、此のことを三五郎から泣付れて打捨ても置かれませんから内庄が先づ此の町檀家の大頭、沙汰をいたしたものですから、腹ッよくれの旦那方が追々内庄の家へ集まつて來ました　庄『さア何うぞ此方へ、勘『先刻は何うも　庄『イヤ何うもおいそがしい處を急に御足勞を願つて濟みません、三五郎が貴下のお宅へも參りましたか　勘『それで參りました　庄『中半さんお宅へも　半『聞きましたよ　庄『あれは何うしたものでせう、皆さんの智慧を借りたいと存じますが　半『何うも些と面倒ですな、尾張屋さんのお考へはどんなもので　尾『然うですね、坂七さんは　七『左樣さ』と誰も然うといふ發言をしないで、然うですね、の左樣さだの何か物が奥歯に引つかゝつた樣なことを云つて居てきつぱり然うといふ者が無い　庄『皆さんの思召を伺つてから私は何とか奔走しやりと思ふのですが　勘『然し我々共はお宅へ上つて貴下の思召を聞いてと云ふので、まア來た譯、御主人のお考へはどんなもので　庄『私は三五郎が可哀想だからまア自分で出來るだけのことはして遣りたいと思ふ　勘『然う〳〵、それだから俺が來る時に、田島屋さんと大總さんと途中で話しをしたんですが、何とか目鼻をあけて遣らなければ三五郎もあゝいふ男だからお寺へ迷惑を掛ける樣なことでも始められては不都合だし　庄『そこです、大工仲間へ面出しが出來ない消島町には住つては居られないといふので、土地を賣る樣なことを云はれて見ると、商人といふ者はそんな判らない者だと思はれるのも残念だ、何うしたものでせう總『私も一ツ何とか然う云つて遣らうと思ふ　田『私だつて然うだ、奈良勘さん、お前さんと私の腹ぐみは先刻話しをした通りだが、御當家の内庄さんの思召を聞いて見できつぱり覺悟をしやうぢやアありませんか、御當家御主人甚麼もので　庄『私は用部屋なぞは構はないから作事係の平間本淨寺樣に會つて三五郎の引込みのつく際にして遣りたいと思ふ　田『皆なそれで氣を揃で居るんですから、おやア誰彼と云はないで揃つて彼方へ打ッつかつて、本淨寺樣に懸け合つて話しをして三五郎に仕事をさせる譯に叶んとお斷はりをくつた時は何うしませう、是れは先から先と苦勞をするやうだけれど、お斷はりをくつた時に、はア然うですかと指を啣へて歸つて來て、三五郎に對して皆なで行つて種々に話しをして見たが届かなかつた、洵に氣の毒だと云ふ譯にも叶んのですから、彼方へ行かない内に斷りをくつた時の覺悟を定めて出て行きませう、それでなければ二の矢は繼げない、若し斷りをくつて引退る樣だつたらそれぢやア係うしやうといふ覺悟を……　尾『餘り出過ぎた樣ですが、奈良勘さんと途中で話しをした事情はね、愈々叶けなかつたら寺を取替やうといふ考を起した』是を聞いて一同小首を傾けましたが、此の治りは次席に

品質の純良を以て多大の江湖の賞讃を博しつゝある
高麗人蔘エキスは
京城府明治町一丁目　小笠原大藥房
電話一九四八番振替京城二七九二番

京城旭町三丁目
京染商　**つたや**
電話二九九番

外科一般皮膚科
泌尿器科花柳病科
院長　安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院
電話四一九番

衛生的新鮮
病院用　**牛乳**　御用
京城東四軒町　**岡野牧場**
電話一〇六九番

十月廿五日　九星
本命六白乾滿赤口
舊九月十日庚子

▲六白　利を求て損となる事有注意すべし……
▲一白　利運の目……

此頃の眼の病　腦の病

◎此頃の眼の病

秋から冬へかけて、涼しい時分から次第に寒くなる時候の變り目、所謂松茸時分にはのぼせ目が多い。それから星目（黑目の中へ出來る星）麥粒（俗にものもらひ）霰眼と言つて黑眼の周に鱗が出來、それが固で角膜軟化と云つて眼のつぶれる事のある病、木の枝や草の葉で一寸刺したのが固で大事になるつき目、それから誰も知るトラホーム、慈痿眼病が今一番多い

◎眼の養生

凡て眼は一寸した事が固で大事になる、眼程人體に大切な物は無いだから少しでも惡いと思つたら直ぐ手當をせねばならね。それには直治水といふ目藥が健腦丸本舗丹平商會製藥場の藥學者達の研究で製造發賣されてゐる。此目藥は高貴藥を配伍された誠に親切な藥で、例へば涙や、添へてある硝子製の點眼器、ガーゼ迄十二分に消毒してあるから、藥質の變敗する恐もなく、効驗は殊に著しい

◎此頃の腦の病

此頃はまた腦にも惡い時である。逆上せるから頭痛、眩暈、便秘、扨いふ故障が起り易い。腦神經衰弱症やヒステリー症の人は猶更注意して現代腦神經病の最大特効藥たる健腦丸を服用する必要がある

◎眼と腦との關係

眼の惡いといふ事も亦腦に重大な關係がある。某醫學博士の御實驗によれば、眼の惡いのを治したが爲に腦神經が良くなつた例を澤山擧げて居られる。然れば眼に惡い今の時季は腦にも惡い。故に腦を大事にする人は同時に眼を大切にせねばならね

◎眼と腦との養生

『島村醫學博士が有効を證明』された健腦丸の腦神經ヒステリー等に對する偉効は既に世人の洽く知られる所である。されば此種病者は勿論、常に頭腦を使ふ人、酒好の人、それから頭痛持、便秘性、逆上性の人々は此際是非健腦丸を用ふ可きで、同時に平生目を多く使ふ人、夜更しをする人、目が霞み又は目が直き疲れるやうな人は、たとへ眼病いといふ程で無くとも、其目の病に一番よい新しく出來た目藥直治水を一日一回宛使ふ樣にしてゐれば、目の爲め腦の爲めこれ程安心な事はないのである。

健腦丸の定價は半週分四十錢から十週分五圓迄殖ゝある直治水は十錢にて各藥店にて販賣してゐる

名流婦人の時世粧

高尚で美しいお化粧の仕方

（第一に）（第二に）東京でも大阪でも、中流以上の良家の奥樣やお孃樣のお化粧といへば、淑女式お化粧法として定評ある左記の化粧法に殆んどきまつて居ります。即ち先づ舶來石鹸よりも牛乳よりも遙かに有効な日本名物**クラブ**洗粉で能く顔を洗ひ、皮膚の美を養ふ**クラブ**美身ゼリーを襟から顔へかけて塗る。若し荒れ性の方ならば、一番よくきくアレ止專用の美身劑**クラブ**美身クリームを代りに用ひ、指先で能く擦込んでから、蒸タオルで輕く拭き取る。」

・生地まで白くなる

（第三に）一番高尚で美しい艶の出る

クラブ白粉

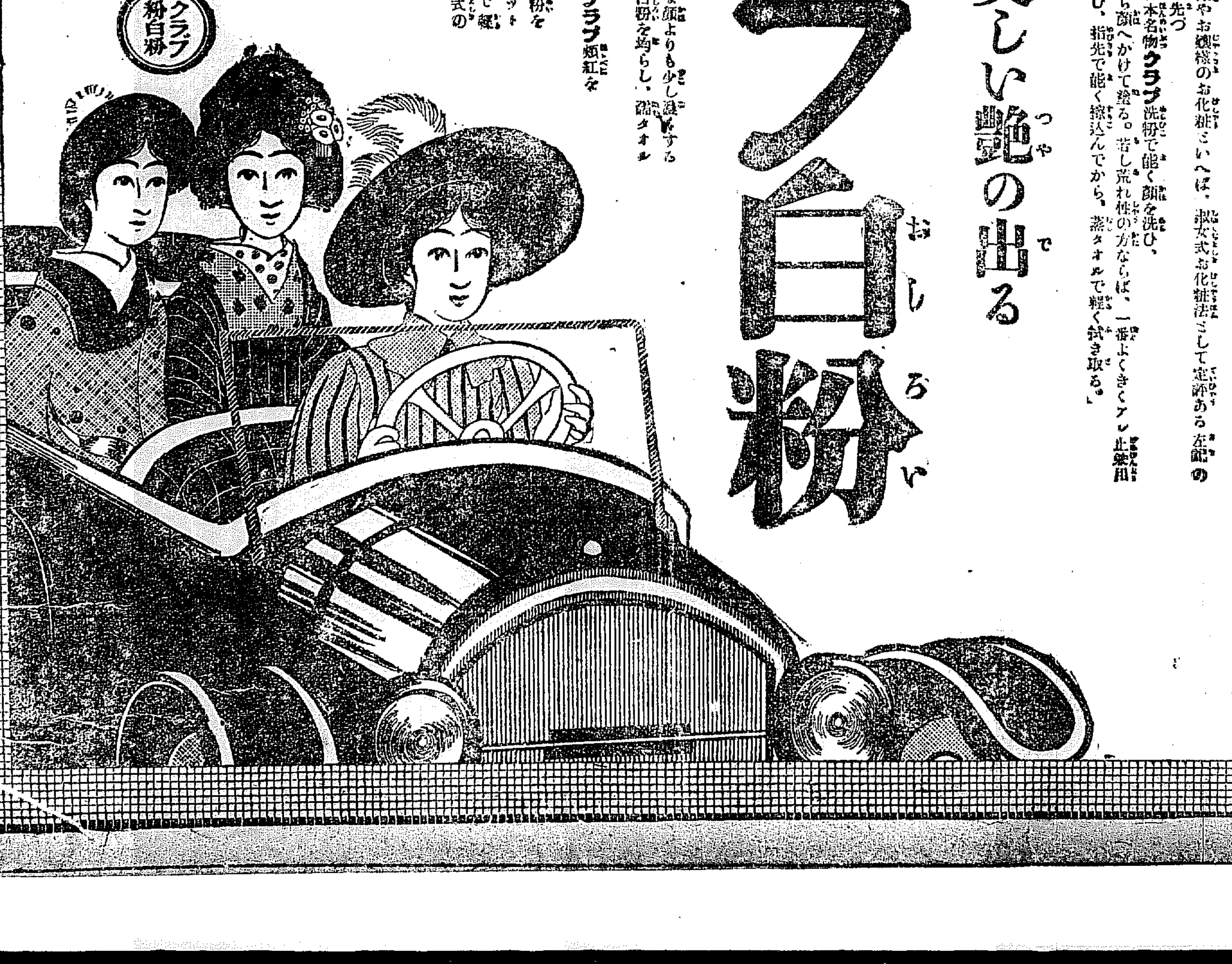
を襟に取り、指先で能く煉つてつけ、（襟は顔よりも少し濃くする事）、牡丹刷毛で白粉を延ばし、水刷毛で白粉を均らし、蒸タオルで押へて白粉を落付かせる。

（第四に）お顔にホンノリと櫻色の健康色を添へる**クラブ**頬紅を目の下から頬へかけて薄く刷きつける。

（第五に）お化粧に一段の生彩を添へる**クラブ**粉白粉をセーム革につけて顔に薄く打ち、襟はポットに粉白粉を含ませて刷いた上をセーム革で輕く打つて置きます。

高尚で美しい淑女式のお化粧が出來上るのでございます。

淑女式お化粧の順序
クラブ洗粉
クラブクリーム
クラブ白粉
ぼたんはけ
水はけ
ぬれタオル
クラブ頬紅
クラブ粉白粉



汽車發着表
京釜線（南行）　同（北行）　湖南線（南行）　同（北行）　京義線　京元線（北行）　同（南行）　京仁線　兼二浦支線

京城日報

第三版 仁川期米 二十四日朝刊 (朝夕刊併せて八頁)

▲銀行警戒否認 各種の惡材料輻輳して委靡沈衰せる財界の人氣は例の山惠問題に關聯して[illegible]

▲災地納税問題 浸水地の農民は[illegible]

京城日報 印度の將來

近年英國政治界に印度を英吉利の植民地と爲し、これに自治制を許すべしと主張するもの多き折柄此度の戰役にて英領印度兵及び印度諸國の戰線に於ける忠勇義烈稱すべきものあり、英國政府則ち印度人民の希望を容るゝの途を動かし、近く印度事務大臣モンテーグ氏を印度に遣はして自治制設定に就き大守總督及び土人中の有力者と相協議すべしと云ふ。

抑も印度は植民地なりや否や、是れ法律家、政治學者間の一爭題たること久しく、英吉利の國法上印度を植民地と云はずして印度帝國と稱す、英國王は同時に印度皇帝にして印度大守は印度皇帝に直隷する所の至高施政機關なり、バロダ、ハイデラバット、マイソル其他土人の諸國は印度皇帝の保護の下に立ち、印度大守之を管轄するを以て英本國の外務省は是等保護國の事に手を觸るゝ能はず、故に佛國國際法學者ボンヒース其他の專門家は英吉利と印度とは同君國家なり、人的合同なりと爲し、墺地利と洪牙利とが其君主を一にするの故を以て相連合して一國家を成せると同一類なりと論斷す。

然れども印度人は斯る難を避けて實を取るの優れるを知る、印度は名は帝國なれども其實は英吉利の皇領植民地なり、印度は平時二十一萬の常備軍を擁し、英吉利の海外に事あるときは則ち出て戰火の事に從ふも、表面上は是れ印度の兵員なり、故に印度人民は實際上英國陸軍費の大部分を負擔し居るものなり、而して印度人は此大陸軍を支持しつゝ自ら士官たる能はずして一々制を英國士官に受く、是れ其の不平多き所以にして最近に至り印度人を擢いて大尉七人中尉二人を命じたるは則ち此不平を慰撫するの一端を擧ぐるものならざるべからず。

且英本國と其植民地との間には定時開催の帝國會議なるものあり各植民地の代表者を倫敦に會して母子國間の要務を協議し來りたれども、印度は植民地にあらずとの理由を以て此會議に加はらず、敬遠か、疎外か、何れにせよ印度人の[illegible]せざる所にして去五月の帝國會議を開くや、印度[illegible]自ら求めて其會議に臨み、他の植民地と同列に就きたり、此一事は印度自ら英吉利の植民地たるを認め、英本國及び植民地共に之を認めたるものと謂はざるを得ずして印度が植民地たるの端緒は此に開けたり、英國政府が其印度事務大臣を差遣するに至れるは、則ち其を植民地として經營するの方案を定むるが爲めなるや勿論なり。

併しながら何分にも面積百九萬餘方哩、人口二億五千萬といふ一大國土なり、幾千年の古文明を有する大民族なり、只其文明は歐羅巴と全く其科を異にする上に一と口に印度といふも英領印度といふべく、大別し四大區劃に分つべく、其人種、言語、宗教の複雜なるを名狀すべからず、加之獨立諸國にして印度大守の保護の下に立つものゝ大小三百有餘國あり、[illegible]利にして自治制を設定するとも、豪洲自治植民地の例を以て之を推す能はざるや言を俟たざる也。

航空界と歐洲戰(六)

國民飛行協會長 長岡外史中將講演

是より些か國民飛行會の事業を御紹介致さうと思ふ。東京に於ては[illegible]多少飛行機に對しての智識と趣味とを有する有力なる實業者が集まつて茲に國民飛行會なるものを組織し日本全國の各地に亙つて支部を設け何れの地に於ても一流の人々に理事を委囑して居る。國民飛行會は何を爲るかと云へば、詰り飛行機に關する趣味智識を普及する目的であつて、其他は今日何も爲ない。何故なれば今日は國家の空防の大本が確立せざる時代であるから、色々な事業を企てゝも結局徒勞に終るのである。隨つて別に大した金を集める心算も無い。若し金を集めやうと云ふならば君が會には有力なる富豪が大勢集つて居るのであるから直ぐ集まるであらう。例へば本會の會計監督は安田善三郎君や馬越恭平君や原六郎君杯であるが、私に向つてどうか會員一人から十圓位集め樣ぢやありませんかと言ふが、私は其れは不可ない。昔の坊さんは托鉢して一文二文の喜捨を積み立てゝ、それから西京に大伽藍を建立した。田舍に行くと俺の寺が西京に在ると言ふ、斯樣な所に寺を建てた金持とは思はれない。讚さん達は本當に建てたのか、ウン俺は出した。天寶二枚出しただよ…と言ふので其れでも俺の寺だと言ふのである。其れに於て佛教は今日の如く國民的宗教となつた。若し彼の多くの寺院が金持のみに依つて建てられたならば、今頃は或は其の跡さへ留めぬかも知れない。國民飛行會の趣旨は普く國民に飛行の趣味智識を與へんとするに在るのであるから、只一回丈け二圓出して貰ふ。今日全國を通じて吾が飛行會員は深山に出來たのであるが、粒々辛苦の金が多い。或は帽子一つ買ふのを止め、襟一つ買ふのも止めて飛行會員になつた者も多からう。故に斯かる金を使ふては相濟まない。そこで飛行會では此の金は決して使はないで基金と定めて居る樣である。又私が各地を歩き廻るのも皆身錢であつて、一文も會の御厄介にはなつて居らぬのであるから諸君も皆々と志を同じうせらるゝならばどうか進んで御入會を願ひたい。御當地に於ては各新聞社長、銀行會社の有力者等內鮮人合して二十名許りの方に理事をお願ひしたから、何卒其の方々から御相談があらうと思ふが、多數御入會あらん事を希望するのである。尙會員になられる方で餘り金に不自由の無い方々にも少し義務を負ふて頂きたい。私が斯樣にして各地を巡つて居るのは飛行思想の普及に盡して居るが、限りある時間と精力を以てしては甚だ物足らないのである。そこで本會では機關雜誌を發行して居るから之を購讀して頂きたい。學校でも、圖書館でも、遊廓でも、床屋でもよいから、讀み終つたならば之を寄附して頂きたい。人に讀んで貰ふて飛行思想を喚起し多數の會員は斯樣にして飛行會の目的を達する樣御援助を願ひたい。長い事は申さぬ。只一年間丈けは手傳ひたいと思ふ。此所三年間位で日本の飛行政策に目鼻が附くであらう。或は三年か四年になるか分らないが、今暫くの間と思ふのである。今回追加豫算が參戰するに付いて航空豫算三億六千萬圓が同議會を通過した。三億六千萬圓で遊ぶ飛行機の數は蓋し夥しいものであらう。吾が日本帝國に於ては自然戰敗や政費節減では充分なる經費を生出す事は難事であると思ふ。近き將來に於て空防に關して大なる計畫を定めねばならぬ、私は其れ迄は富豪金持は一切やらぬ、寄附金を出さうと云ふ人はあるが、私は絕對にそれを受けずに居る。即ち空防の大方針が確立せぬ間は寄附金は取らぬ考へである。

本紙定價 一ケ月金[illegible] 廣告料金 [illegible] 發行兼編輯人 奧田直 印刷人 小川三之介 發行所 京城本町一丁目 京城日報社 電話[illegible] 振替貯金口座[illegible]

支那漫遊 滿洲の中秋

蘇峯生

予が哈爾賓に於ける感觸は、左の二十八字に蘊括す可し。

松花江水香漫漫。傑閣瑤園劉業殘。士女何關家國事。戰雲猶未度興安。

興安は申す迄もなく、興安嶺也。午後二時哈爾賓を發す。座席の競爭は、一種の活戰場也。予等一行を蹟び、豫じめ宿の壯俠をして、座席を占めしめたれども得ず。然も剩へ、他の爲めに奪はれんとするの危險あれば、已むを得ず、見送りの諸君に、挨拶もそこ〳〵にして、時に發車十五分前より、大切に我が席の地を守れり。然も閣々敷も、鐵道警員の服を著けたる二露人は、一方に割り込み、頑として動かず。稍々談判の末、發車後に於て、漸く退去せり。されど其の復讐には、予等の支那人從者を、此の場所に招致したりとて、二重の割增賃を取られたり。車內の不潔は勿論、車行遲々牛の如く、各驛停車時間の長き、小欠伸、大欠伸の連發也。但し中秋の月は、未だ夕日の沒せざる時より出で、松花江鐵橋を過ぐる頃より、月色愈よ磨き來り、渺漠たる郊野、恰も大海の如く、其の高粱の月色に映ずる、波浪の如く、而して一個また人家や、小杜を見る、島嶼の如し。一碧天上の月、萬里平原の影、實に滿洲大平原の中秋は、予が生來、五十五回の中秋の中に於て、最も愉快の一たるや論なし。而して汽車寬城子驛に停るや、遙に隱々として囃子の聲を聞く、是れ支那人部落にて、中秋のお祭を爲す也。何となく我が祭禮の光景を想像せられて、床敷かりき。汽車は百五十哩位を、十時弱にて駛れり。午後二時に哈爾賓を發し、長春に著したるは、十二時前なりき。但し此處にて、時計を一時間繰り戻せば、長春時間にては、十一時二十三分過ぎとなる也。停車場には、千時過ぎなる提燈山の如く、何の爲めの提燈行列にやと、其の人に質せば、否な支那人の宿引の出迎の爲めなりと答ふ。例によりて支那人の如き、山なる、悪く可き也。

(大正六年十月一日朝 長春にて)

[illegible]

誰(103)

布施生譯

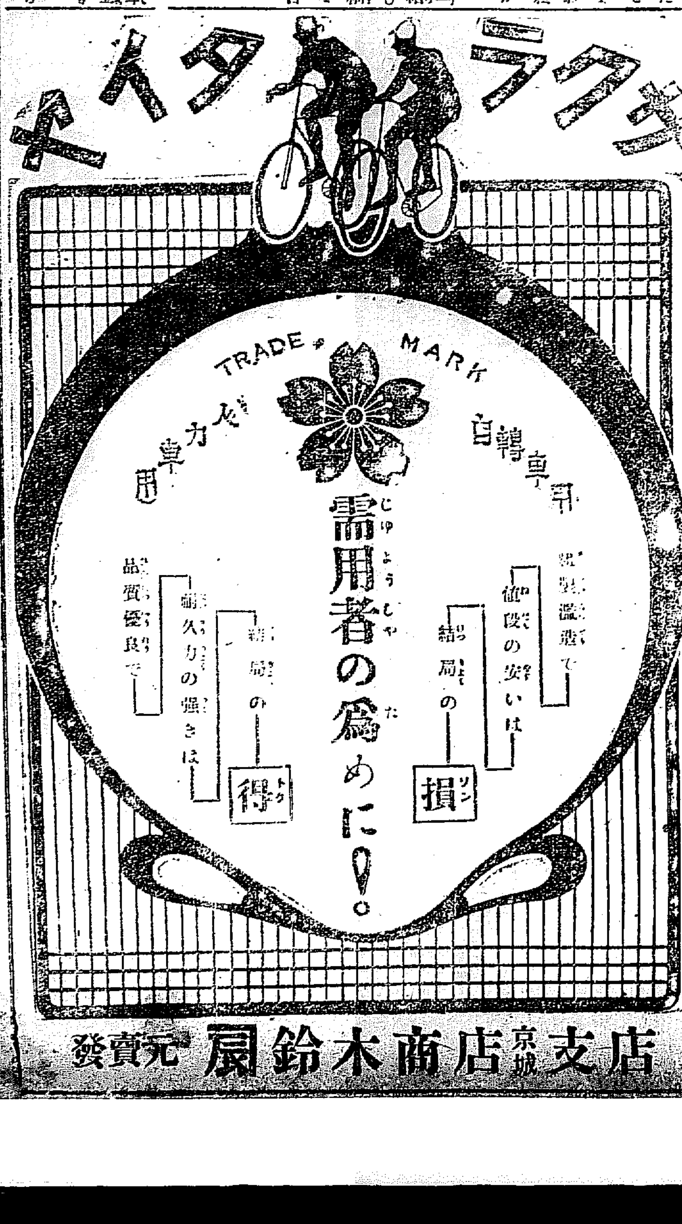
『御念にやあ及ばねえ、それこそ手前が好きな釋師跳足でやつて見せらあ、遠で貴樣は眞正に氣をつけて失敗らないやうにやれよ』『うむどうするんだ』『貴樣は復例の競馬の賭だらうが何でもどん〳〵放蕩を始めるのよ、賭博だらうが湯水のやうに金を使へ、そしてそら貴樣に己とは交情が惡い事になつてるんだから貴樣は己の處へは[illegible]

[illegible]物は己等には贅澤だぞ』『いゝよ、其樣に謂はなくても、己は何もお前と手を切らうと言ふんぢやあれね、ぢやあ手取早く話をつけるが巧くいつたら分前は幾許くれる』『失敗つたら骨折賃は幾許だい』『結婚に一萬よ、それに今から己の細まで擔つた丈は皆取つておけ』『抵當はどうする』二人は暫く細かい勘定をして居たがそれも程なく調つて、穎太郎は愈利介の狂言の相方になる事に同意した。

雜誌抄(一)

○立木良否鑑定法(鐵道青年)

立木の表皮に穴を穿ち、之に竹を挿し込み、其竹に耳を當てゝ聞くと、悲ましき音響が耳を撲つ。此音響の如何を聞き分けて、其立木の良否を鑑定するのであるが、是れ恰も醫者の聽診器を以て、體內を診察すると同一である。是は正に樵人の用ゐる鑑定法である(寶遊生)



十一月號 十錢 日常草のや水うこ哭 父を尋ねて 一番の人はどんなものを食べたか 織物に使ふ羊の毛 ▲少女小說 故鄉の海 ▲寫眞小說 秋祭の宵 常識的大懸賞 ▲歷史小說 お房の孝 ▲少女小說 尊い光

少女の友

一冊 拾參錢

十一月號 びっくり合戰記 ヴェルダンの空中戰 番界に爆彈投下 便利重寶な電氣君 嗚呼セントヘレナ 箱根山を越ゆる記

日本少年

一冊 拾參錢

廣告 小生今般退官仕候處在官中は多年公私不一方御懇情を蒙り感謝の至に御座候尚將來不相變御厚誼の程願上候右不略儀紙上御挨拶申上候 敬具 追て錦地出發の節は態々御見送被下難有御禮申上候 東京市牛込區南町一九番地 中村彥

陸軍拂下 佐藤古着店

式岡福許特賣發 石油瓦斯 發動汽鑵 中古汽鑵車賣却 輕便鐵道用及土工用に適す 貳噸格安に賣却す (牽引力六噸半) 沖製造新品電信機(モールス現字機)數臺の格安賣却品あり 京城南米倉町 安達商會 長電話一九一北番

漢學講義錄 帝國漢學普及會 目下入會最好機 一ケ年卒業 講義錄見本付附則一代進呈 東京神田猿樂町

最新發明!!! 東京神田今川小路一丁目 藤屋商會

川合時計店 京城本町一丁目 電話二九一 振替京城一二

タトウ蓄音機 專賣特許第二五六八〇號 大正六年九月[illegible] 農商務省特許公報ニ曰ク 本發明ハ蓄音器音栓ノ如キ歯車及ビ「ゼンマイ」ノ如キ破損磨滅ノ恐レキ構造ヲ用ヰズ堅牢安價ナリ 並製 金三圓八十錢 特製 金四圓九十錢

鑛區買入 各鑛種鑛區 御申込次第買入申候 新發見も御申込に應じ申候 京城旭町一丁目 電話九五五 三友鑛業事務所 試金用各種 坩堝販賣 白土商店

○兩廣護國軍組織

譚浩明氏は二十日兩廣護國軍聯合司令官に任命せられ二十一日南寧を出發し湖南に向へり同軍の組織は廣西軍は三個軍團に分ち第一軍團長殷爾駘氏第二軍團長林出耐氏第三軍團長陸裕光氏にして廣東軍は一個軍團とし第一軍團長は馬濟氏第二軍團長は林虎氏之に任じ甚だ優勢なり(北京特電)

○張將軍北方加擔

廣東來電、廣東惠州に於て二十箇大隊の兵を擁せる張天露將軍は汕頭よりの後援を得て廣東政府に對し獨立を宣言せり此の獨立の報に接したる廣東督軍陳炳焜氏は其部下を派して張天露を討伐せしめたるも反て討伐軍の敗北に歸し多數の死傷者を出したり一般に信ぜらるゝ處に依れば張將軍今回の獨立宣言は龍濟光氏の慫慂に依るものにして張龍兩將は北方と協定し行動を執るものなりと(北京特電)

○露國假國會波瀾

露國假國會は十二月二十日マリンスキー宮殿に於て開會し首相ケレンスキー氏開會の辭を述べ議長以下幹部の選擧行はれアヴェンチエフ氏議長に當選せり過激派は同會を以て無責任なる現內閣の諮問機關に外ならずとし脫會する旨を宣言し一同退場したり(露都電報)

○獨墺水兵の衝突

ポーラに於て墺國海軍は反亂を起し次で墺國水兵と獨逸潜航艇隊乘組員との間に衝突を生じ双方の士官數名殺害されたり其結果獨逸艦隊は其根據地を變更するに決したり(羅馬電報)

○米國も戰爭地帶

米國政府に達せる情報に依れば獨逸は近く合衆國、加奈陀及び玖馬の沿海を戰爭地帶と認むるの宣言を爲すべし尙ほ獨逸潜航艇は大西洋航行の船舶に向つて襲擊を爲すべく既に米國沿岸に向つて出發せりと信ぜらる(紐育電報)

○米驅逐艦擊沈さる

米國驅逐艦一隻は潜航艇區域內に於て獨逸潜航艇の爲めに魚雷を發射され乘組員一名即死し五名負傷せり同驅逐艦は損傷を負ひ某港に到着せり(華盛頓電報)

○駐支財務官赴任

駐支那公使館附小林丑三郎博士は同事務官松岡好一氏等同伴二十三日午前八時三十分京城驛發赴任の途に就けり(東京特電)

○石塚總裁著奉

東拓總裁石塚英藏氏、高瀨理事、西山、淸水兩秘書の一行は二十三日奉天着大和ホテルに入れり驛頭には滿鐵社員、鮮銀、三井の各店員其他官民多數の出迎へありたり總裁は總領事館及び張督軍を訪問し夜奉天官民、新聞通信社員八十餘名を金城館に招待し盛なる支店開設披露宴を催すべし(奉天特電)

▲東拓の對滿策 石塚總裁談

石塚東拓總裁の談に曰く、予は日露戰役の當時民政部に在りて屢次來奉せるが今回は實に發展の著しきに驚けり弊社の滿蒙進出は時運の然らしむる處なるが主として正金…

○北鮮發展 十年間に見違へた 松川將軍土産談(下)

…の途に在る長岡陸軍中將を京義線石下驛に迎ふ將軍の談話の一節に曰く此行朝鮮に於て豫期以上の効果を收め得たり邦家の爲め喜ばしきことなり又安東に於ける日程は其他有志者の決定に從ふべきも義州は明治二十七八年役中久しく兵站部司令官として駐剳したる思出あれば是非共訪問すべし而して二十八日迄には本溪湖を經て大連に向ふ筈なりと(安東特電)

北鮮は吾輩の參謀本部に居つた時代明治四十年に一巡した、丁度今回は十年目である、當時吾輩の北鮮行は軍事偵察地を何地に定むべきかと云ふ調査であつた、羅南を訪ふた時同地は荒涼たる曠野で僅々二三戶の民家を見るに過ぎなかつた、淸津も開港匆々で今のやうな埋立てもなくトタン屋根の急造家屋ばかりであつた、淸津會寧間は輕便に出來る

▲軍用輕便鐵道 で往復し頗る危險なた、然るに今日行つて見ると羅南は夙くも相當の市街を作し目下日一日と其の市勢を膨脹してゐる殊に數年後咸北道廳が鏡城から移つて來たらば師團の完成に伴ない益々大市街を形成するだらう、現在から往時を追想すると夢の如いである、兵營も理想に近く完成しつゝある、淸津も港勢發展大に面目を革ため半永久的の家屋が、ズン〳〵殖へつゝあるやうじや、淸會線のトロは

▲立派な廣軌式 の鐵道に變り十一月の二十五日からは其の全通を見ると云ふ、ドコも淸しい仕方だ、會寧は好い所じや、淸會線が全通すれば圖們江貿易の進展も當然來る可く原ぢやらうから同地の將來も注目に値しやう、序でに會寧附近の地勢は實に演習地的に出來てゐる、ドコに行つても旅團對抗や聯隊對抗の演習は實に適當に出來る

◎物資聯絡運輸に就て(上) 鐵道院西部管理局運輸課長 小平信藏氏談

鐵道院西部管理局運輸課長小平信藏氏は… 一時發北行列車にて京城に向へり同氏の方針を問ふ氏は語りて曰く

歐洲戰亂後漸次船腹の不足を告げ爲めに船價暴騰し延て運賃の高率を來したる結果滿洲及び朝鮮奧地の物資にして朝鮮鐵道に因る運搬の必要ありしが頗る増加し現今は二千五百噸に過ぎざりしに現今は三千五六百噸を輸送し得る迄に改善せられたるを以て

▲著しく增加 の傾向あり既に昨年の如きは出荷の貨物は釜山埠頭に輻輳し貨物の數甚少ながら一時は停滯せる貨物を以て鐵道院に於ても貨主の利便を計る爲め臨時貨船を傭船し一時之が救濟を計りたることあり尙ほ本年も一兩日中に貨物專用船を運航せしめ出入期に於ける貨物の輸送に當らし

むる計畫を爲し居れり尙又近日の內一艘を傭船し關釜航路に就航せしむる筈なるが同船は主として滿洲に輸入する物資の輸送を主とし傍ら移出貨物を積取るものにして從來の貨物專用船は內地への輸出貨物を運送するを主とせし爲め內地より輸入する貨物に

▲自然重きを 置き爲めに片輸送の傾ありしを以て本年は此缺陷を補ふ計畫にて餘力ある場合には便宜積取を爲すことゝなし居る相違を生ずべし、山陽線は目下斷然京城に… 漸次改善を計り信號所十數箇所の增設、機關車の增加等に依り昨年の今頃は一日の輸送力二千八百噸に過ぎざりしに現今は三千五六百噸を輸送し得る迄に改善せられたるを以て

▲二割以上の 輸送力を增加せし割合なり然れども之れが輸送力の增加は全部關釜連絡に供用せらるゝものにあらず本土及び九州より輸送を爲すを立用せるにあり朝鮮よりの移出にて差して增加せしむべき餘力あるに非らず昨年は一時朝鮮貨物の使宜を計る爲めに九州輸送の數量を節減したることありしも斯くの如きは一時臨機の處置を執りたる迄にて將來も斯くあるべしと豫期するを得ず元來關釜連絡船は歐亞旅客連絡の幹線なれば乘客本位にして貨物本位にあらず殊に下關に於ける施設に見れば一目瞭然たるべし

○三本氏通過

滿鐵本社に轉任したる三本武重氏は二十三日奉天著直ちに大連に向へり(奉天特電)

○長岡中將動靜

滿洲行の途次二十三日午後七時三十分官民の出迎へを受けて安東著二十四日午後三時滿洲に於て同地官民飛行會長長岡陸軍中將は滿洲訪問の豫定なり(安東特電)

▲將軍曰く

滿洲訪問既報の如く吉林督軍孟恩遠…

◎鮮銀券五千萬臺を拔く

朝鮮銀行券の發行は依然漸增の歩趨を改めず殊に下旬に入つて月末決濟資金の準備新穀出廻資金の需要增等のため二十日五千萬圓臺を拔き二十二日は五千零九十三萬六千圓の發行新記錄を作り之れを前年々末の最高發行高に比するも約四百萬圓の增加を示し居れり尙ほ二十二日よりは青島支店の開設あり更に鮮滿兩地共期界は漸く繁忙期に入るを以て來月に至らば尙ほ數百萬圓の膨脹を見るべしと

◎利上如何 鮮銀某當局談

實行には尙ほ時日あり

預金利上問題に就ては東京に於ても漸く問題となりたるが更に預金利子の引上については鮮銀は相當の考慮は費しつゝあり…

▲重役會議 に於て…從つて其の引上期の如きも未だ東京の…せしは種々の原因もあれど近來一般金融界の緊縮傾向により預金利子の如き…何等金利に關しては…然るに朝鮮の銀行…んとする…差をなからしめ…

▲他銀行と競爭 …更に朝鮮銀行は利上を行ふ…に追隨せざる可からざるの理由…

◎吉林省形勢其後

吉林不穩の報に對し奉天督軍張作霖氏は孟督軍に對し二十二日限り退任を求め二十三日午後北京に向ふ筈なるも何等の回答に接せず吉林督軍の辭職は實行せられざるも何等の回答に接せず…連名にて北京政府に對し孟督軍の留任を求むる電報を…吉林及び長春に於ける軍備は之を整へつゝあれども未だ獨立の宣言を發表するに至らず目下北京の行動を注目しつゝ一方吉林長春の人民の動搖を極力防止しつゝあるを以て表面兩地共に靜穩にして經濟界にも何等の變動なし然れども富裕なる支那人は南部に避難する者多く滿鐵停車場は多忙を極め居れり而して長春の鎭守使の行動不明なるより二十二日夜將校二十名吉林より長春に來りて監視しつゝあり(長春特電)

◎張督軍態度如何

張作霖氏の意嚮は未だ決せざるも豫て東三省王の野望を抱き居れる氏に執りては孟氏の左遷寧ろ目の上の瘤を除くものとも云ふ可く細く蔵に當れる鮑貴卿黒龍省督軍と共に討伐の兵を出動せしむるや否やは疑問なれども張督軍は此の事變に對し頗る樂觀的態度を執り居れり(奉天特電)

○討伐軍湖南に向ふ

討伐軍廣東第一師は二十一日暮春を引揚げ同時に慶源、郾春間の電話線を撤廢して舊狀に復せり(北京特電)

○吉林省諜叛別報

張作霖氏の左遷は遂に段政府と…

既報の如く吉林督軍孟恩遠…

○獨食料缺乏之甚

…れば砲火相見ねんと呼號し居れり(奉天特電)

◎京管分課規程

滿鐵京城管理局にては事務の能率を圖る目的を以つて夕刊所報の如く分課規程を改正し二十二日より施行することゝなりたるが其の所管左の如し

▲第一條 京城管理局に庶務、運輸、工務、經理の各課及び工場を置く

▲第二條 庶務課に於て左の事務を掌る 一、社員の進退身分賞罰及び教育に關する事項 二、文書の接受發送編纂及び保存に關する事項 三、廣告… 四、調査及び統計に關する事項 五、法規及… 六、… 七、… 八、… 九、…

▲第三條 運輸課に於ては左の事務を掌る 一、運轉… 二、… 三、… 四、… 五、… 六、… 七、… 八、… 九、…

▲第四條 工務課に於ては左の事務を掌る 一、… 二、… 三、… 四、… 五、…

▲第五條 工場に於ては左の事務を掌る 一、…

▲第六條 …

◎京管各驛長召集

滿鐵京城管理局にては二十四日午前十時より龍山鐵道俱樂部に於て京仁線京義線南大門以北及び京元線各驛長を召集し諸般の打合せをなすべしと

◎滿洲視察團

滿洲學事視察團は鮮內各地教育當局者及び關係者を以て組織し本月二十八日出發の豫定なるが一行は三十三名にて其れを四部に分ち第一部は教育行政方面、第二部は南滿洲及び實業教育及び專門教育方面、第三部は中等教育第四部は初等教育及び社會教育狀況其他一般方面を其々擔當して調査視察する計畫にして各部に主任を置き總督府視學官上田駿一郎氏團長となり往路汽船にて大連に上陸順次視察を爲すべく往復日數十九日の豫定なり其の日程左の如し

▲十二月二十八日午後七時十分南大門發▲仁川▲二十九日大連着▲三十一日旅順▲一月二日大連▲四日撫順▲六日奉天▲七日遼陽▲十日鞍山▲十一日鐵嶺▲十二日長春▲十四日本溪湖▲十五日安東▲十六日京城着

◎村田博士一行

大阪住友の顧問たる前採木公司理事長林學博士村田重治氏は隨員數名と共に十九日入京目下巴城館に滯在中也

◎市場位置變更

京畿道に於ては內張坂郡內南面生洋家畜市場の位置の變更を認可せられたり左の位置にて開設することゝなりたり▲名稱 內張坂家畜市場▲位置 西南面…

口重要電報 欄外にあり

人事 消息

▲吉川勇治氏(釜山地方法院判事)二十三日夜入京

▲不破氏…二十二日入京

▲滿鐵… 淸水氏(…)同上

百鬪百戰

歐洲でも米國でも大分人手が不足なのは經濟に就ては苦心をして居るらしい▲露都などでは食料が原因で何でも不用な人口を減らしてしまへすれば可いとの考察を廻らして居るとか▲佛國では青年犯罪者を以て組織した軍隊があつて適當の指揮官を以て勇敢な守備隊として立派に働いて居る▲米國でも人間經濟上の意味から此例に傚つては怎うか▲囚人に非常の價値ありや否やは大分評論が起つて居る▲彼等は比較的に體力に於ても優れ且つセンチメンタルであるから▲罪を犯したもので國家に奉公せよと云つて軍隊に編入すれば乾度素晴しい働きをするのだろう▲尤も全軍隊に惡感化を及ぼすかも知れないから▲獨立の聯隊として露國の娘子軍の如く意義ある聯隊名▲例へば贖罪聯隊とでも命じては怎うかと云ふのが多い相だ▲贖罪聯隊は面白いが泥棒聯隊強盜聯隊などゝ命名されては流石の囚人等も閉口するのだろう▲強盜聯隊と云へば戊辰戰爭の時に伸仙道を進んだ土佐藩の隊が▲甲州で強盜共を募集して斷金隊と稱し▲常年廿歳前後の美男子平生貫一郎が隊長を知退藏が後見で頗る勇敢な戰をした▲勝沼で有名な近藤勇の軍を潰走させたのも此の斷金隊だとの事▲却々以てさう輕蔑したものではない▲戰は誰れが強いか判るものではないよ

京日案內

◎貸家又は貸間 家具付 當所林町四九番地 質家下宿屋向間數十有離家十数付 古金町三丁目四一 古賀邉 747

◎看護婦及看護婦見習生急入用 希望者本人來談あれ 南大門通り 漢陽農工銀行裏 司生堂醫院 733

◎出張所及代理店募集す 希望者は履歷書及返信料を要す 廣島市可部日本經濟株式會社公債部 742

◎配達人及女集金人募集す 本人來談あれ市內保證人を要す 明治町二丁目 魁新報社 739

男女社員採用 上要履歷 京城吉野町一 電二七七二 第三帝國總支社 744

有給社員募集 番外 希望者は來談 女但無經驗者又は兼業にても宜し 本町二丁目 シンガーミシン會社 本町分店 749

明治町フランス教會前 うちみほねつぎ所 電話二五九五番 荒川仁壽堂 625

◎礦物定量分析所 太平町二丁目二五 電長一三四四 朝鮮公論社 坂元分析所 748

見習生募集 年齡十八歲以上廿五歲迄 程度中學又は甲種商業卒業者 右募集す希望者履歷書携帶來談 京城南大門通一丁目 三徳商會 745

恩給年金 長期低利現金 即時 京城南大門外 電二六八八番 山口屋 671

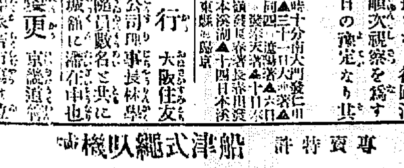
銃砲火藥獵具 京城明治町 電話三〇二 瀧川銃砲店 支店 太田、公州 668

魔法瓶 及魔法瓶 中瓶 取替 京城本町一丁目 電話一三四番 高木旅行用具店 665

內勤事務員採用 月俸金二十圓 履歷書携帶來談 日本生命保險株式會社 開城代理店 738

特約販賣人募集 各道廳郡廳 朝鮮各道面 東洋拓殖會社 各部郡面吏員 朝鮮繩叺改良組合 御用達 …當繩叺機の力は往復へ分…にて御照會被下度候

專賣特許 船津式繩叺機 大邱府元町二丁目 東屋商店

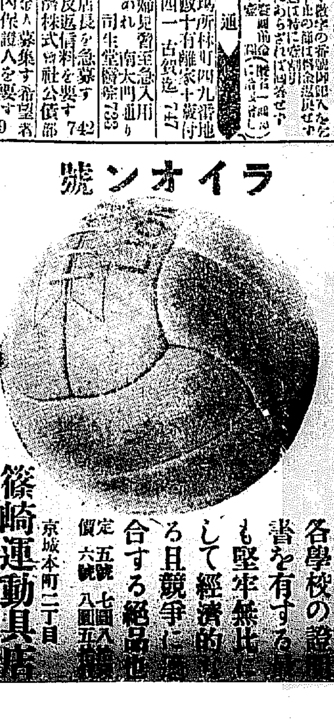


特許で賣出した 平民法律所 雜誌規則進呈 東京芝區新櫻田町九

玩具卸商 織田東洋館 京城本町一丁目 電話二六九 振替京城二五六 薄利多賣迅速は弊店の特色

女學世界 十二月號 二年草(被く銳き観察の關西旅行記) 平安朝式より上代の女 吉田… 飛行家の妻として 磯部… 實社會の米國の女 …代たの 白樺の林から 長谷… 傳說に生きる朝鮮の娘 木村… 南洋の女 淺野… 商家の見たる現代婦人 松岡映丘 晩秋の歌がたり 細田… 商評の長篇家 懸小說 心の響 北島春石 平家史話 繼盛夫人の事 松平… 女流音樂界の名士 …山まさ… 國香會の生んだ閨秀畫家 … 三婦人の印象 … 小兒を取卷く結核 患者 河合醫學士 華やかな女詩人額田王 田中… 閒一髮(寓意物語) 奥野… 縮を見る婦人の用意 … 銀杏の葉(京の雨奈良の雨) … 東京 實業之日本社

イラオンス號



各學校の證書を有する物も堅牢無比にして經濟的なる且競爭に適合する絕品也 定價 五號 七圓八十錢 六號 八圓五十錢 京城本町二丁目 篠崎運動具店 電話一三〇

かつけ最良藥 清水如水氏創製 陸軍衞生材料廠 官製

▲ブラノーゼ▼ 本品は舊軍藥劑官淸水如水氏が諸大家の學說と實驗の成績に鑑みて種々研究の上最も精選したる原料を以て合理的の製劑にして脚氣に對する 脚氣心臟障害(衝心等)一切の脚氣に對する効能が最も確實顯著なるのみならず常に本劑を服用すれば脚氣を豫防し神經衰弱を治するの効力あり又滋養强壯の効力も非凡にして又便秘症に用ふるも大黃製劑或は鹽類下劑等の如き後害を胎さず始めて之に快通するの良作用ありとして 大に聲價を博しつゝある最新藥なり 前小倉衞戍病院長 醫學士 島田二等軍醫正(現大阪衞戍病院) は大阪砲兵工廠職工に實驗の成績を調査の結果 七日以內の服用にて治癒せるもの最も多數を占め七日以上を要しつブラノーゼの外他藥を併用せざりしもの、平均治療日數僅々拾貳日四分にて又豫防力の強大なることを認めたることを大正四年五月の大正醫報により發表せられたるが北久寳寺町三丁目 醫學士白江內科院長 も治療的及豫防的効能殆んど同一の成績を得たる旨本年四月乃至五月の醫藥學雜誌に發表せられたり 小罐(半ポンド入)五十錢 大罐(倍量)九十四錢 近日內地壹個八十錢壹個海は卅錢(全國知名の藥店にあり) 發賣元 三才商會 大阪市北區河內町二丁目 振替大阪二四四〇番

○全國有名各藥店にあり○ 特約店 イロハ順 大黑屋藥海堂(釜山辯天通) 中井歐洋堂(釜山西町) 宮本千藥局(京城本町四) 勝宮藥局(釜山幸町)

……計畫に忙がしく衛同日千五百名の歩兵と騎兵若干を長春に集中しつゝありて吉長鐵道をも占領せんとすとの報あり又吉林省城に於ける中心は其勢力第一混成旅團長にして孰れも京督軍の留任を見ざ[illegible]

……於ける[illegible]其他降邦中立諸國よりの食料供給にては到底獨逸の不足を補ふに足らずと（北京電報）

島峯博士

●米國人も舌を捲く

驚くべき獨逸齒科醫學の發達

醫學博士 島峯徹氏談

獨逸の齒科醫學の發達は實に驚ろくべきものがある。米國は云ふ醫は歐洲より學びたれども齒科醫學は歐洲に敎へたと之は事實である。獨逸が近代齒科醫學を米國より輸入したのは

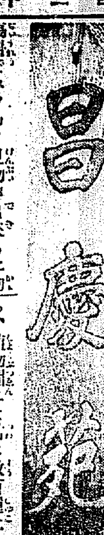
▽僅か三十年 以前である。それが今日では隆々として米國を凌駕せんとし、所謂る出藍の譽れある所以のものは、何れの點に歸因があるかと云ふと色々の原因もあらうが、其の一として米國より輸入する時に此の學科を綜合大學の一部として入れた事と、豫備教育の

▽程度を高め たる事と、教授を採る人を醫者と齒科醫と兩方持つた人即ち專門學科を修める以前の基礎が廣く且つ鞏固であると云ふ事である。即ち以上の事は其當時米國には無い事であつた。現今でも獨逸の齒科醫學生は醫學生同等の豫備教育を受けたるものに限るのである。

▽先づ日本で 云へば高等學校を卒業したものに限るのである。此の制度は全世界で獨逸を措て他の國には無い事である。米國では今猶ほ大に獨逸の學制に倣ひ齒科大學等を形成し居れども併し豫備教育の程度は醫學生より二年程低いのである。元來獨逸の

▽總ての學問 教育の眞髓は豫備教育即ち基礎學の廣く且つ鞏固と云ふ方針を何處までも曲げぬといふ事にある樣に思ふ。

因みに島峯博士は東大醫科大學卒業後に一般醫學を約二箇年、一般齒學を[illegible]研究せし後獨逸に於て口腔外科齒科學を研究したる事八箇年、内一箇年伯林大學齒科部に於て教授に推薦せられ教授を執りたる本邦齒科界の泰斗にして今回來鮮の上李王職下の口腔手術の為め拝謁の御用に依り李王に李太王、李王妃殿下の御齒も診察したること既報の如し



●『昌慶苑』なる名稱を用ふ

▽從來其の名が一般に徹底して居なかつた李王職の博物館、動植物園に『昌慶苑』と云ふ立派な名稱があるにも拘はらず一般の者に其の名稱が徹底せず新聞雜誌の記事にも博物館と書いたり或は動植物園と記されたりするので

▲區々に亘つて 苑內の博物館、動植物園とも一人五錢の入場料でスツカリ見物が出來るに拘はらず世間に多く此事が知れ亘つてゐないので當局者は如何なる場合も必ず『昌慶苑』なる名稱を用ゐる事とした、而して電車の如きも『御苑行』とあるを『昌慶苑』と改めしむることに目下交涉中であるといふ抑も『昌慶苑』の由來を聞くに古くは高麗時代建築物の遺趾であつて李朝成宗王十四年、貞熹王后以下三宮の為めに建設したものである、其廣表

▲約五萬五千坪 で、博物館は苑の中央に位し朝鮮古今の貴重な美術品繪畫武器諸器具博物標本等約二萬點を藏し、動物園には世界の珍禽奇獸數百種を飼育してゐる、植物園には常に數百種此の數倍に數萬本に及ぶ有らゆる世界の植物を栽培し殊に昨今は南洋方面の草木が盛りであつて、有名な食蟲植物の類まで藏してある。而して又た秋の觀賞植物として菊花西洋花其他の花卉が追々盛りになる頃である。

因みに『昌慶苑』の扁額は李王職長官閔丙奭子の揮毫に係るものなり

●二千年前の古器發見

京都帝國大學文科大學教授今西龍氏は慶南咸安郡伽倻面道項里なる古墳を發掘中なりしが十九日に至り地下約十六尺の所にて埋沒したる石棺を掘當てたるが中には小刀、鐵、青色素燒陶器等總て百四十餘點あり大部分其の形體を完備し考古學人類學上頗る有益なるものにて今西博士の考證に依れば二千餘年前の物にして朝鮮最古のものならんといへり開國四百七十五六年頃古老の云ひ傳へに依り陰かに何者かが盜掘したる形跡あると同教授は尚發掘を續けつゝあり

●婦人と賊格鬪

六百餘圓強奪さる

忠南大田本町二丁目米穀商[illegible]方に二十日夜一名の曲者忍び込み現金六百餘圓を窃取逃走せんとするを妻[illegible]が發見して誰何して取押へんとしたるも強力なる曲者の大男とて叶はず僅かに飛びたる洋杖の折れを證據品として大田署に屆出でたるより大田署にて非常線を張りて犯人を嚴探したる上同署は引續き戒中なりと（大田）

臼井代議士談

代議士臼井哲夫氏の視察談に曰く▲黑龍江沿岸を遡つて[illegible]に入りバイカル湖イルクツクに遊覽し一轉して北京に入つたのだ風物のみは依然たりき▲而して[illegible]余の觀た所では附近の都邑に達したる變化も認めなかつた[illegible]顏を洗つたと言ふ丈けさ▲天津には行かなかつたよ、北京邊[illegible]

……[illegible]の為めになる樣に思しが今はないのだから[illegible]らない、只其間に立つて比較的支那に通じた人が兩派の報告を公平に且つ高處に解釋するのが[illegible]▲其の解釋奈何に依つて支那の現狀[illegible]如何なるものかは大概之れに由て判斷が付く[illegible]が出來るばかりだ[illegible]支那の內情を了解して[illegible]るを言ふ奴が敢てあるなら其れは氣狂だよ▲[illegible]超される而かも其の新聞が五千と出るのは稀れデナイ殆んど唇紙だ大概は一千內外之れも元來支那の與論は留學生と新聞紙に由つて喚[illegible]極く善い方で動もすると朝に立つて夕べに倒れる底のものが多いのだ▲其れで居て[illegible]那四百餘州四億の民衆の與論と呼號するの[illegible]から可笑しい所謂支那の與論なるものが果して[illegible]支那の與論——南北の勢力は到底判るものか[illegible]

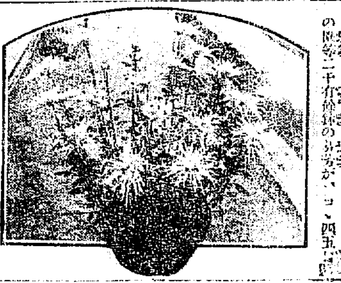
成歡行き（二）

一隊の行騎一行の頭上を掠めて往く

▲騎は出來る元氣は恢復するに足から第二農場への案內に一行は五六町隔りたるアラブ馬種の畜舍に到る此所にて色々と種馬に關する說明を聞き終つて場員は稱中の逸物に鞍置かせ一行の試乘にと引出した一行には鈴木長官の如き斯道の達人も居り權藤事務官の如き始終友人の間を乘り廻つて馬術の上達を誇示する自分免許もあり鮮銀の飯泉君の如き乘馬袴ゲートルの出立ち見事な人もあつたが何れも謙讓の美德を發揮し只だ大島副官が見事一鞍乘り收めたに止つた此所で行中少壯連中の目に止つたのは馬の制慾器であつたので

▲種馬に撰出さる丈あつて其勢力も中々に強く或る時機が來ると勃々たる元氣押へ難く天然の調節にては飽き足らず動もすると或る依體を自個の腹部に托して、自快の道を講ずるが為め何千金と云ふ良馬を產出する大事な液素をして徒らに腹部に塗抹するに止むる不經濟を慮つて皮の紐にてブラシを腹部に結び付け置き先生元氣餘つて或依體を腹部に持つて往くが最後此のブラシにて其鋭鋒を挫かれ覺はず元氣を萎縮せしむる仕掛になつて居る更らに轉じて廐舍敷地に案內さる此所にも幕打ち廻して休憩所が設けられ燒芋、水瓜、志留粉、蕎麥などの接待が始まり、一饗饌を飽喫した、腹內最早是等の御馳走が入る餘地もなからうと思の外青木大食會長の如き強者が居て頻りと遣つて見せるので思はず釣り込まれて水瓜五片志留粉二椀を平げて一同の食傷を作つた者も出來た

▲折柄一隊の行騎は激しき蹄音をなして一行の頭上を掠めて往く、すかさず一發浴せかけた名手もあつたが騎は少しも騷がず悠々として去つて往きしも愛嬌なりきかくして實益と興味とを併せ兼ねたる滿遊を續け居る內に日も漸く西に傾きかけたれば一同歸途に就く途の車內にて其殘形を留め居る日清役當時の支那軍の砲兵陣地の跡など尋ねつゝ成歡驛に至りぬ此所には復た松崎大尉御前の廣場に休憩所が設けられ各自戰爭當時の昔をしのびつゝ戰蹟保存會より寄送のはがきを利用して親友に宛たる問安の書狀を出すなどして居る內に蒼茫たる暮色は四山を籠め來り弦月は低く驛頭ポプラ樹の間に掛り坐ろに戰蹟憑弔の感を深からしめた（釜見聞書）



◆植物苑の菊花

この日曜が見頃

李王職植物園內の菊花は本年二千餘鉢を栽培してあるが、來る日曜日頃には花盛りを設けて大に乘客の[illegible]を延く筈であるといふ。溫室にあるは『[illegible]の濃』で、四五日も經てば更に花數は增ツト長く垂れて恐らく朝鮮では[illegible]を示すであらうといふ。之に次げるは、紫絨段、天の暉、新雪の月、此他二千鉢以上のもの[illegible]

●船底に縋りて漂流す

鎮南浦三和町船乘業[illegible]は船子土田鐵雄と共に五十石積みの帆船に大麥六俵粟一俵松葉二百五十把外砂利等を[illegible]島にて積み込み鎮南浦に向け航行中十月十七日午前五時頃唐島東方三海里位の海上にて俄かに強風に襲はれて遂に顛覆し兩名は船底に取縋りて漂流中現場を航行し竟りたる仁川朝日組の發動四番日丸船頭平山勇五郎が見付け救ひ鎮南浦に入港して無事救助せしが船體は遂に曳綱切れて流失するに至り損害合計五百卅圓なりと

[illegible]東大連戰謝の秋季祭典は二十二日[illegible]軍隊を始め官民多數の參拜者あり頗る盛觀を呈せり（奉天）

[illegible]十七日其筋の命令に依り電話線も撤廢[illegible]派遣の軍隊及び憲兵隊共に全部十九日[illegible]

滿鐵京城管理局分課規定改正の結果從來の總務課員は庶務課、營業課及び汽車課員は運輸課、建設課[illegible]

[illegible]（帆）は鯖百七箱を積み慶北浦項を發して釜山に向け航行中東萊郡大邊沖合にて火災を起し船員は必死に防火して辛くも二十二日午前四時頃釜山に入港せしが船體一千圓荷物二百圓位の損害を來したりと

●飛降り 二十三日午後七時半頃京城電氣株式會社の病院線五十五號電車が本町一角に向け進行中東小門外生れの朴某[illegible]（二二）が飛降りをなし輕傷を負へり

安田氏昌慶苑を觀る

滯京中の安田善三郎氏は一行を從へて二十三日昌慶苑を觀覽した▲氏の談に曰く『是れ程廣大なる公園は東京にもない、殊に自然の儘を應用し古雅なる雄大な庭園を造つたのは極めて面白い思ひ付きである▲動植物も母國に無い種類の物を澤山集めたのは大に當事者の努力を多とするに足るべきである▲先刻長谷川總督に御目に掛つた時も總督も申された、李王殿下の母國御訪問は內鮮人の感情を親和する事に於て多大なる効果があつた樣に思はれる▲無論御費用も莫大なものであらうが、併し今後も引續いて母國の御觀光を希望するのは一般の輿論であらう』

●發動汽船火災 [illegible]漁業所[illegible]發動汽船千代丸（十四[illegible]

●女中が尠い

周旋屋が困る

內地好況の餘波で京城に於ける女中の拂底は[illegible]

例年ならば晩秋から歳末にかけて所謂漂泊の女や九州邊からの出稼ぎの女が每日三十人位ゐ周旋屋の暖簾を出這入した者だが今年は

▣內地の景氣 が素敵に宜いので農閑期を利用して渡鮮する山口縣や九州の女が殆んど來ず反つて逆輸入が流行して居るから我々組合では悲觀を惹起して京城市二十餘軒の周旋業者中二三の者を除いては殆んど營業も

▣續き兼ねて 居る有樣である最近の通信に依ると東京大阪邊の女中の相場は月四五圓から一躍七八圓に騰貴したが京城でも其の通りで昨今七圓乃至七圓五十錢でも女中の方が餘り喜ばない計りか少し住心地が惡いと女中拂底を鼻にかけて主家を手古摺らせる者が多いが

▣大抵の場合 使ふ方でも讓歩して居ると言ふ奇觀を呈して居る料理屋旅館の仲居や女中も從前では二十七八迄の薹の剝げた女でなければ周旋も出來なかつたが今では撰擇する餘地もなくなり娼妓の如きも窃かに逆輸入する者が乘込んで玉の惡いのを引拔いて行く爲め

▣新町遊廓で は遙かに狼狽して周旋業組合に向つて娼妓の周旋は出來得る限りせぬ樣にと申込んで來た程であるから一般から來られやう樣な有樣で女中の拂底は極端に達して目下の處華客先からの注文の十分の一をも滿す事が出來ない爲め電話でお斷りするさへ心苦しい

●故岡氏追悼會

京城電氣會社專務取締役故岡[illegible]氏の追悼會は一ノ瀨武內、西村[illegible]、岡本桂次郎其他六氏の發起に由り別報の如く二十三日午後四時より本町三丁目開敎院に於て執行せらる此日故人の面影を偲ばんと參拜するもの貴顯淑女約三百、讀經の聲堂の內外に流れて四邊さながら人無きが如く極めて靜寂の中に式は進行し此間弔辭、燒香等滯りなく終つて五時過ぎ閉式されたるが近來の盛儀なりし

うわさのうわさ

每年上野の秋を彩る文展はこの十六日から開會されたが是に依つて非常な評判を招いたのは文展の天下である▲尤も少時は文展に公開したのは十八日からで十六日は俗に云ふ招待日▲この日は寺內首相も態々駕を枉げ田所文部次官、審査員寺崎廣業諸伯の案內で場內を一巡した▲時々、猶々批評も試みたが軈て平福百穗氏の『豫譲』の前へ來ると非常に氣に入つたものと見え、離れて眺めたり近寄つて見たり『ホウ珍らしい意氣旺盛な繪ぢや、殊に此の馬の出來が……』と流石は武人▲見終つた首相は美術獎勵の爲とあつて件の『豫譲』と田中賴璋氏筆『挂冠四枚』を買上る事とし斯と田所次官に頼んで歸つた▲首相は『これで一擧に二點の名畫が手に入つた』と大得意で居たが、豈圖らんや翌日の夕刊を見ると當然自分の物と思つた『豫譲』や『挂冠四枚』が魔々と仙人に買約されて居る▲不思議に思つて早速田所次官に照會すると『すつかり忘れて居ました、いや早や何んとも申譯がありません』との事▲首相は殘念な事をしたと口惜んで見たが後の祭、切めてあれ程思ひをかけた名畫、何處に行つたか行方が知り度いと段々詮議して見ると、兩方共細川侯の手に入つて居るので▲首相も『まア彼所なら其の處を得たものだ』と漸く安堵？の胸を撫で卸したとやら……

●水原の運動會 水原勸業模範場にては二十一日午前八時半[illegible]

▲廣告

質 田村質店 黄金町二丁目長橋町 電話二九一六番 迅速叮嚀 商品擔保便利取扱

シュコズにヨクキク 大正大目藥 小瓶十錢 大瓶廿錢 東京京橋南傳馬町 大正製藥株式會社 振替東京三二三七三番 ○全國到る所の藥店にあり

醇良無双清酒 菊薰 無害衛生品質無双

釀造元 福岡縣城島町 首藤合名會社
發賣元 京城府黄金町二丁目 首藤京城支店 長電話一一七一番
釜山幸町 首藤釜山支店

フォード ハップモビル ウードモビル
◀自動車▶ 東洋一手代理店
今般瀬戸章三儀當社を辭任し小生更つて赴任致候に就而は自動車及附屬品を特別廉價に販賣仕る可く又事務も丁寧迅速を期して從來の御厚誼に報ひ申す可く此段謹告仕候
京城西大門外竹添町 セール、フレザー京城出張所 主任 ウヰリヤムスタイルス

頭痛神經衰弱 エクレス
損は廿錢 利益は一生 迷はずにスグ試みよ ヒステリー特効藥!!
エクレスは高橋博士監督の下に數多の學士が今日、醫藥發賣元として、東洋第一の稱ある三共株式會社の最新藥を原料として研究に研究をかさね確實なる効能ありと認めて社會に發表せしものなれば 頭痛、頭重、眩暈、神經衰弱、ヒステリー ヒポコンデリー、貧血、腦充血、等に不思議な程よくきく
藥價（廿錢、五十錢、一圓）三圓の四種あり 東京日本橋區室町三丁目 泰昌製藥株式會社 振替口座東京二七五七番

朝鮮人蔘を召し上れ

一、純朝鮮人蔘（百五十匁） 不老不死起死回生の靈藥 精力增進、補血强壯
特等根 特價金十五圓
一等根 同金十二圓
二等根 同金十圓
三等根 同金八圓
四等根 同金六圓
五等根 同金五圓
六等根 同金四圓

二、純人蔘精腦 朝鮮人蔘中に含有する全成分を煎出し、收縮精製したるものにして、効力五倍以上の純人蔘精腦
十日分 特價金九十錢
二十日分 同金一圓八十錢
三十日分 同金二圓四十錢
六十日分 同金四圓二十錢
九十日分 同金五圓四十錢

三、風呂用人蔘（袋入） 身體を溫め血液の循環を良好ならしめ病後衰弱等の疲勞を回復し、關節の痛み、切り傷皮膚の出物、等に効能顯著
一回分 特價金二十五錢
五回分 同金一圓十錢
十回分 同金二圓
三十回分 同金五圓五十錢

四、三ツカシワ 純人蔘水飴 附屬東京牛込病院醫藥品研究部實驗證明老衰病衰食血疲勞回復の老幼婦女子の一大强壯料品
大罐 特價金二圓
中罐 同金一圓
小罐 同金五十錢

御注文の方法
一 官公、銀行、會社勤務の御方は葉書にて御注文なさい代金は俸給日拂
二 其の他の御方は爲換又は振替若は代金引換にて御注文下さい即日送ります
三 送料も關稅も申受けません
四 申越次第實驗報告無代進呈

朝鮮京城府長谷川町五八 朝鮮製藥合資會社 振替京城三八一〇番 電話一三〇九番
東京市牛込區白銀町一九 東京支店 振替東京二四五二五番 電話番町五四一二番
下關市丸山町一八九六 下關支店 振替福岡九六〇七番
東京市牛込區矢來町二四 內科 外科 婦人科 生殖器科 人蔘療科 附屬 牛込病院

櫻御殿

第四十九回　三左衛門の血（六）

大阪　霞の家主人

彦丸が『や』と掛けた聲の下に、三左衛門の首は前に落ちる、正則はそれを双手に拾ひ上げて『可惜武士を……』と沈と見て、『不怒な目に遭はせつゝ、最後の折、相手は圖書殿と云ふた、あの一言まで生きて居る、犬死させまい、きつと仇を取つて遣ると誓ふた、あの詞は反古にならぬ』と獨言のやうに云つたが『助左衛門、助左衛門』と高く呼んだ

中井助左衛門は正則秘藏の家臣である、次の間から膝行り出て手を支ゆる

『御前に』

『此處に居れ、委細を語らう』

正則は三左衛門が今際の折に、訴訟した一伍一什を語り聞かせる

『御無念のほど御推量申し上げ奉る、然る上は御口上の趣き申し傳へ、圖書の首を申し受け歸るでござらう』

助左衛門は胸を叩くやうに云ふた

『されど圖書は大身、足輕小者の首を切るやうにもなるまい、由つて兩三日の猶豫は取らせへ、勘忍の儀は罷り爲らぬ、最愛の郎黨に犬死させ、阿容々々武士は立て行かれぬ、圖書の首級を見るでなくば、此場から本國へ退いて、きつと意地を研く存意ぢや』

『お覺悟のほど具に推量、萬事は助左衛門に御任せ下されへ』

『呼び出いたは別儀でない、これに三左衛門の首級がある』

『や』と助左衛門は驚いて『可惜壯士、何故の御制敗でござり申した』

『御制敗でない、生恥曝かされ、男が罷り成らぬとて』

『ね、男が罷り成らぬとて死んだ』

『仇は伊奈圖書ぢや、お主この首級を井伊兵部少輔殿本陣へ持參せへ』

『は』と助左衛門は畏る

『斯うして申さうには、大崎三左衛門儀正則が予闘の家來にておはしましたを、伊奈圖書の爲め腹切らせた、男の意地是非もなく首にしてお目に掛ける、此の首級は貴方へ納められ、代りに圖書殿御首級を下し置るゝやうきつと申せ』

斯う云ふ中にも、正則は無念の涙を流す、助左衛門は委細を承て

『萬事を心得、井伊殿へしかと申す、而て事の經緯は何樣でござり申した』

助左衛門は三左衛門の首級を首袋を調へて立ち出づる、井伊兵部少輔の本陣では、福島左衛門太夫からの使者と聞いて、家老宇都木上總が對面した、助左衛門は三左衛門の首級をさし出して

『まづ此をお受け下されへ、これは福島左衛門太夫が家臣大崎三左衛門首級でござる』と云つた

その樣子が何處となく殺氣立つて居るので、上總はまづ眉を顰める

『何と仰せぢや』

『仔細はこれにて言上申す』と助左衛門は扇を斜に構ねて、三左衛門切腹の根元を詳しく述べ『さる仔細に由つて、左衛門太夫申す、武士の意地、伊奈殿御首が見申したい、匆々これへ遣はされへ』

上總は面の色を變へるまで驚いた、相手は正則、一方は主人寵臣、然もそこに鐵の如き産地が横はる、然に返答を濁らせてはなるまいと思つたので

『委細承はる、されど只今は主人兵部少輔、内府様御前でござる間、後刻此の方より御返答申し上げる、まづお引き取り下されへ』と云つたが、助左衛門承知しなかつた、彼の頭にも、虎の威を借る狐の影がさして居た

『お詞ではござるが、此の首級と伊奈殿の御首級とを取り換へ參れと命ぜられた、井伊殿のお歸りまでこれにお待ち申すでござらう』

上總は困却の目を光らせながら奥へ入つた

名刺　京城　太平堂　電話二七一二　振替二三、七

▼竹下中將と足袋　石井

特使に隨つて渡米した竹下海軍中將は『一體君、風を引くなんて者の氣が知れないぢやないか◇抑もあの足袋と云ふ奴が曲者であれを穿きつけると臆病風を引くんだへ我輩なぞは寒中と雖も子供に一切足袋を穿かせない事にしてある、勿論我輩も穿いた事はないよ◇お蔭でまあ風を引いて見たい位のものさ』と◇平素から氣焰を揚げて居たものだが今度桑港邊りで特使と共に風に取附かれたと云ふ電報が來る始末に或人が◇『中將アメリカで足袋を穿いたに違ひないは』と尤もな說

日報俳壇

朝顔

朝顔や忌明くる日の外朝ら　骨堂

朝顔や髮梳る女かな　同

朝顔の鉢並べたる非机　同

朝顔に人訪ね來て長坐かな　同

朝顔に朝月白き離落かな　燕

顔に夜が明けて行く微風哉　同

蜻蛉　上

兩事頃さる新聞の朝を飛ぶ蜻蛉　待宵

蜻蛉流る蒼穹の下の火藥庫　同

籠鍛冶屋の甲羅さす飛ぶ蜻蛉　同

池の浮木に蜻蛉影打つ夕也　同

湖は畫の陶はき流ふ蜻蛉哉　妍

蜻蛉に遠山低く尖り居る　同

碧深き大空を飛ぶ蜻蛉哉　同

旭の前の高草に蜻蛉光り居り　餘渦郎

蜻蛉吸ふ石の邊の風もなく　同

雨草のこの一原の蜻蛉よ　同

ガード潜りする水や飛ぶ蜻蛉　山奥水

蜻蛉凝り絹糸回す蜻蛉かな　同

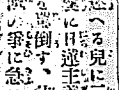
昨草の花爭ふ風に飛ぶ蜻蛉　要村

黍の穗並に蜻蛉流るゝ夕日哉　同

水を汲むは靜なり飛ぶ蜻蛉　味川

蜻蛉の影を織る水溜り　海石

蜻蛉紛れ日の馬上に溜れし曖哉　芳雨



▲迷へる兒に云ふ、予は嘗に日蓮主義を奉戴せる者の一人である。宗派の爭に急にして徒らに宗祖の眞意を倒す、徒らに根本を究めざる有象無象の輩の起ちて一片の反駁をなす者なき、予は思惟の感論に屈服せしものなりと思ひ出たその氣力を悲しめりと而しるに月餘の今日足下を得て、私かに會心の笑を漏らさゞるを得ず。先づ云ふ、自己の大精神とは彼ら迷へる者の外に立ちて宇宙の眞を自覺せる者を指す、日蓮と同じと成るやとの間、然り、日蓮の生命は其血と涙なり、その氣と魂とは實に彼が原動力たるのみ、是を活かし是を發揮するものは、その血と涙に非らずして何ぞや、彼の一生を貫きて伏したるもの、これ宗教宣傳の爲にあらず、日蓮宗確立の爲にあらず、實に彼の血と涙の大人格が默する能はずして發動したるのみ、予敢て多くを云はず貴重なる紙面を爾するを虞るれば也。他日期して云ふべし。（無宗青年）

▲京城冬季の夜警は或る二三の町内に於て組織せるものを除くの外は從來一定の者をして夜警せしめ其費用は十錢、五錢、又は三錢と各戸より應分の出金を爲し來りつゝありしに拘らず某町二丁目は昨年より殆んど盲目に均しき老爺の强請に任せ月に二十錢、三十錢多きは四十錢と出金し尚ほ本年も同一に出でんとするは餘り馬鹿々々しき事であり敢て各人の注意を望む（二丁目の一人）

▲私しは次の事項に就ては健康診斷を受けるとか或は衛生上特別の方法をするとか一寸衛生專門家の御注意を願ひたい事と思ひます（一）護謨風船等の笛の付て居る玩具等は未だ充分發育して居ない小兒の愛すべきもので之れを與ふる時は必らず賣主が一應吹いて渡しますが若し人に恐るべき病氣が有らば忽ちに傳染するではありませんか（二）蒲鉾製造者は口笛を吹くことか又は必ず蒲鉾をする其度に口から唾が出ます　つまり唾入りの蒲鉾を喰ふ樣なものでそれは一應蒸汽で蒸けるから病菌はあるまいが何か汚い樣な氣がしますので一日に消毒ガーゼでも當て與たら如何でしようかと存じます（衛生女）

▲南米倉町の或る裏長屋に感心な孝子があります自分は夫れを能く知つて居りますから二三日の内に詳しく投書いたします故記者樣載せて下さい（愛民生）

大阪たより

▲整理不調善後　山嘉商店の救濟問題は遂に不調に終りたる…く其他棉花に對し思惑買附一萬俵某々銀行の危機に瀕せりなど云ふ…内外を有し既に支拂期日に迫られ風說に耳を傾け白縄白綿益々不況…目下猶豫を請ひつゝありと云ふ…

大阪株式相場　▲二十三日前場　宇治川電　六〇、九〇

大阪期米特電　大阪株式　一七九、三〇

遠藤商店　電話九八二番

◉現代の眞價

現代は科學萬能の時代で凡ゆる事物は總て廣汎に微細に科學的に研究せらる

是を以て如何なる理論も實驗も基礎を科學に置かざるものは其價値を認められぬのである本劑の如きは實に深く科學的に研究せられた醫學上藥學上各專門家が認むる所で實に現代の眞價を發揮したものである今國内如何なる老人小兒に至るまで大學目藥の效力を知らざるものなきは即ち本劑の卓越したる眼病藥として最も確實なる效力を有する證の第一である

一般眼科藥として最も猛烈なる效力を有するは一たび試用した者の直に首肯する所で最も稀有にして最も偉大なる效力ある藥劑たるは本劑が支那全國は勿論遠く南洋諸島印度各地更に遠く米國に於ても偉大の信用を博し需用日に月に益す增加しつゝあるは眞に本劑が卓效を有する實證の第一である

大阪市東區北濱一丁目
發行所　合資會社參天堂藥房
十才以下の小兒の爲めに特に小兒用大學目藥あり

醫化學器械一式

仁川本町　北島藥店

京城本町永樂町角　北島藥店京城支店　電話七六一番

藥種賣藥卸商

京城府小門町二一番地（舊醫院跡）

田中丸病院

院長　醫學士　田中丸治平
副院長　醫師　上野和夫
電話八八五番

【入院隨意】普通病室隔離病室の設備あり

東京帝國大學三宅博士發見

蛋白　澱粉　脂肪　消化劑

プロテアーゼ

星製藥株式會社

京城明治町二丁目　電話二三四番

中央婦人病院

攝津灘

大塚釀造所吟製

京城本町二丁目

發賣元　前田酒店　電話一三七番　振替口座四二五番

當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城　朝鮮銀行

支店　東京、大阪、神戸、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、吉林、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村

出張所　右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

下總國野田町

茂木七郎右衛門釀造

特約店

明治町一丁目

牧野商店　電話二五三番

醬油の撰擇を誤るは年中の損

試み給へ關東唯一の絕品キハク醬油

釀造高全國に冠たり年額六萬二千石

最大の釀造高は最大の購買力に基けり

最大の購買力は品質優越の實證

最上醬油　（キハク印）

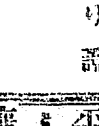
最新刊

露西亞に遊びて

大阪屋號書店

出張所開設

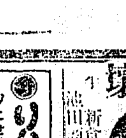
平壤



藥栗

京城南大門前電車七九番　池田商會

りん病ばい毒



詐欺漢なり

京城南大門外停車場通　ドラッグ商會

開自動車著發時刻

織居自動車部　金泉支部

日本郵船出帆

尼崎汽船出帆

共同汽船仁川出帆

第二共同丸

仁川代理店　野口商會

大阪商船仁川出帆

釜山出帆廣告

朝鮮郵船